

# 児童のスポーツ活動に関するアンケート調査結果 について

令和6年3月 弘前市

# 目次

## 調査結果

- 1 対象者等について
  - 2 スポーツ少年団の活動状況について
  - 3 学校とスポーツ少年団との関わりについて
  - 4 スポーツ少年団の指導者について
  - 5 スポーツ団体等に参加していない理由等について
  - 6 児童のスポーツ活動について
  - 7 自由意見
- 【参考】平成28年度調査時との比較

## 調査概要

**目的** 今後の児童のスポーツ活動のあり方、スポーツ振興施策の検討にあたり、児童のスポーツ活動に関する現状及び課題等を把握するため、アンケートを実施したもの。

**調査対象** 市内小学生（3～6年生）の保護者、市内小学校教員、市内スポーツ少年団の指導者  
※令和4年度時。

**調査方法** アンケート用紙を配布し、記入後回収

**回答数** 4,155人（回収率82.9%）

## 用語の説明

本アンケートにおいては、各種団体に関して、下記のとおり定義しています。

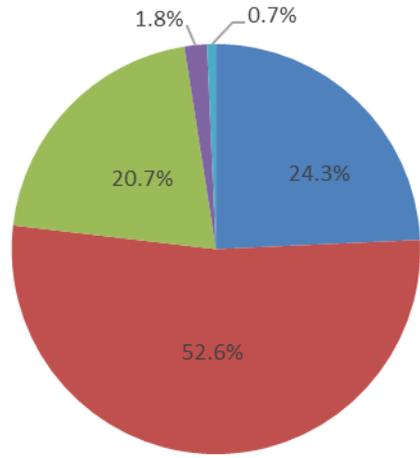
- ①スポーツ少年団 : 保護者等が中心になって活動しているスポーツ団体
  - ②スポーツクラブ : 民間が運営しているスポーツ団体
  - ③学校スポーツ部活動 : 上記以外で学校の教員が中心になって活動しているスポーツ部活動
- 本アンケートでは、①と③を合わせて、団等と呼称します。

※スポーツ少年団に登録している＝「スポーツ少年団」、登録していない＝「スポーツクラブ」の区別ではありません。

# 1 対象者等について

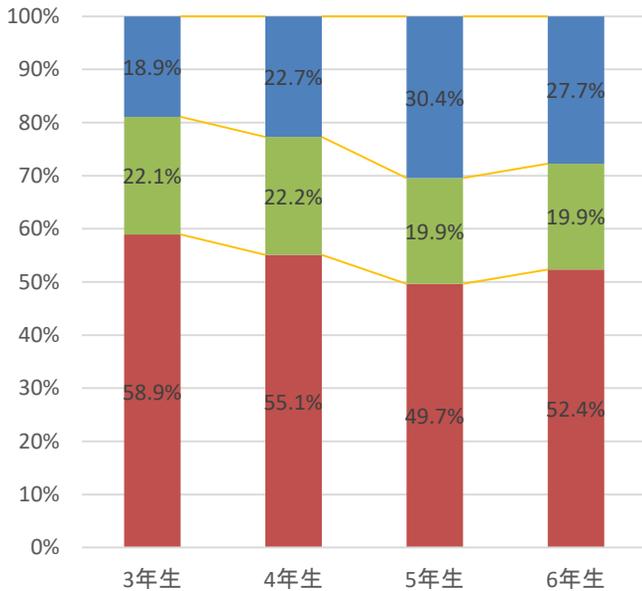
## ◎対象者等について

|                           | 回答数<br>(人) | 構成比    |
|---------------------------|------------|--------|
| 1 団等に参加してる小学生を持つ保護者       | 1,009      | 24.3%  |
| 2 スポーツ団体等に参加してない小学生を持つ保護者 | 2,184      | 52.6%  |
| 3 スポーツクラブに参加してる小学生を持つ保護者  | 859        | 20.7%  |
| 4 団等の指導者                  | 74         | 1.8%   |
| 5 市内小学校（教員）               | 29         | 0.7%   |
| 合計                        | 4,155      | 100.0% |



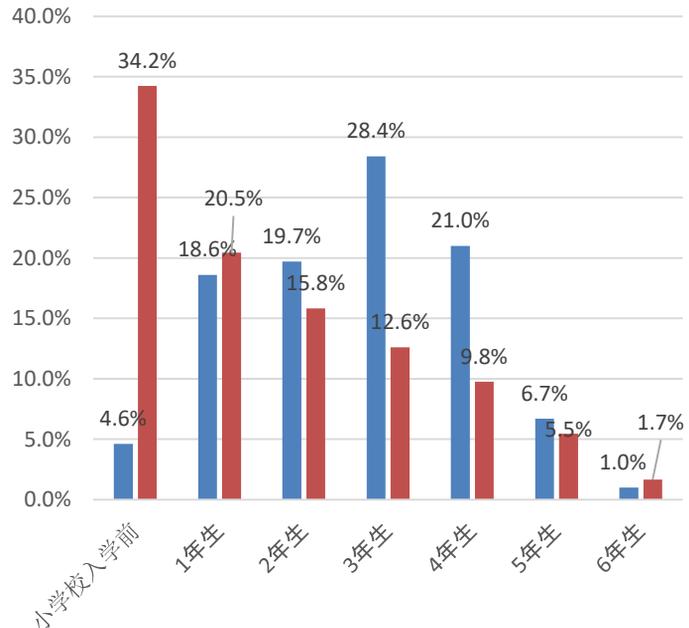
■ 団等に参加してない小学生を持つ保護者  
■ スポーツクラブに参加してる小学生を持つ保護者  
■ 団等の指導者

## ◎お子さんの学年は？



■ 団等に参加してない小学生を持つ保護者  
■ スポーツクラブに参加してる小学生を持つ保護者  
■ 団等に参加してる小学生を持つ保護者

## ◎お子さんが団等・スポーツクラブに加入した時期は？

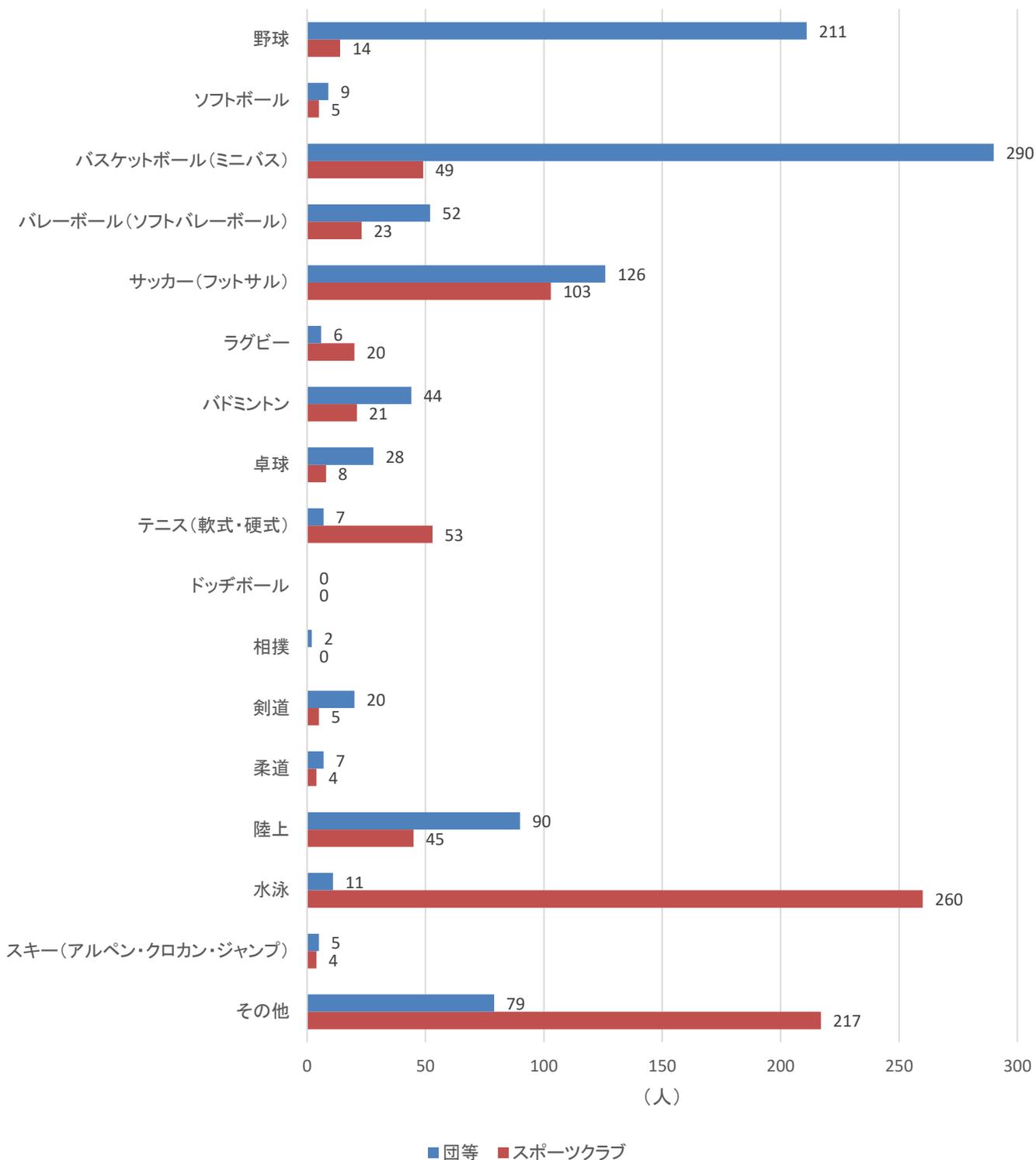


■ 団等に参加している子の保護者  
■ スポーツクラブに参加してる子の保護者

# ◎お子さんが加入している、 スポーツ種目は？

(参考)回答数

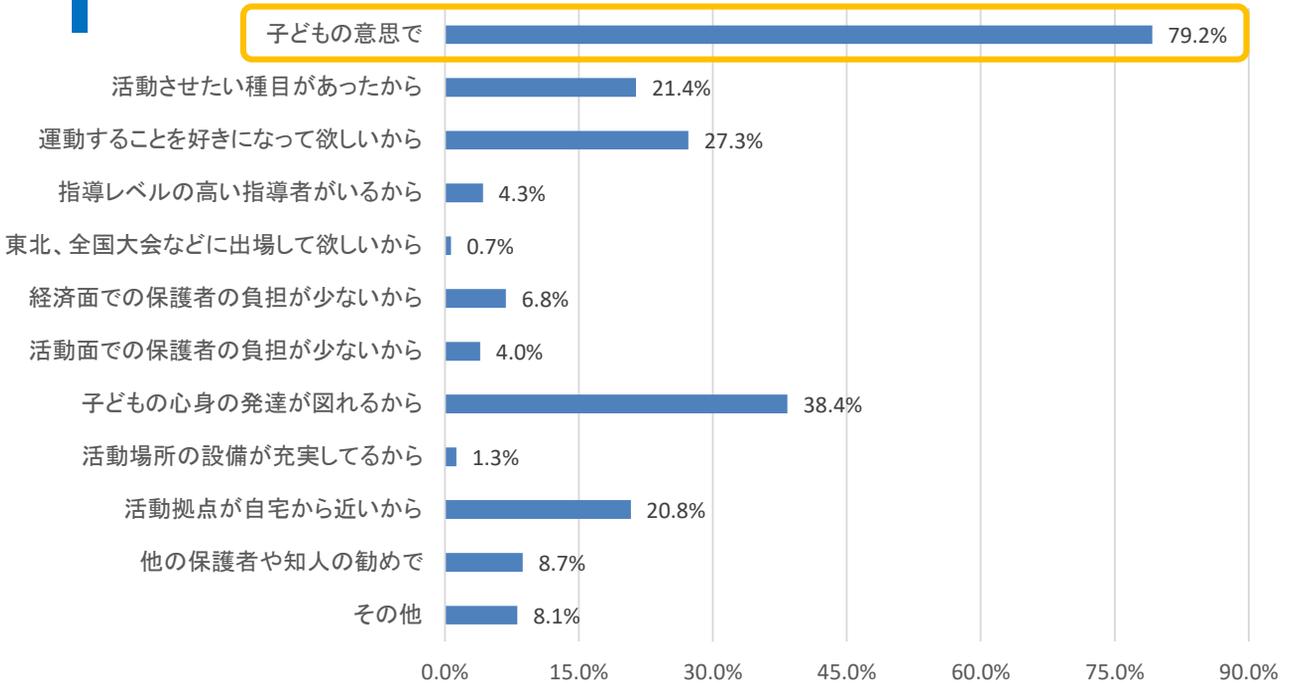
|                    |       |
|--------------------|-------|
| 団等に参加している子の保護者     | 1,009 |
| スポーツクラブに参加してる子の保護者 | 859   |



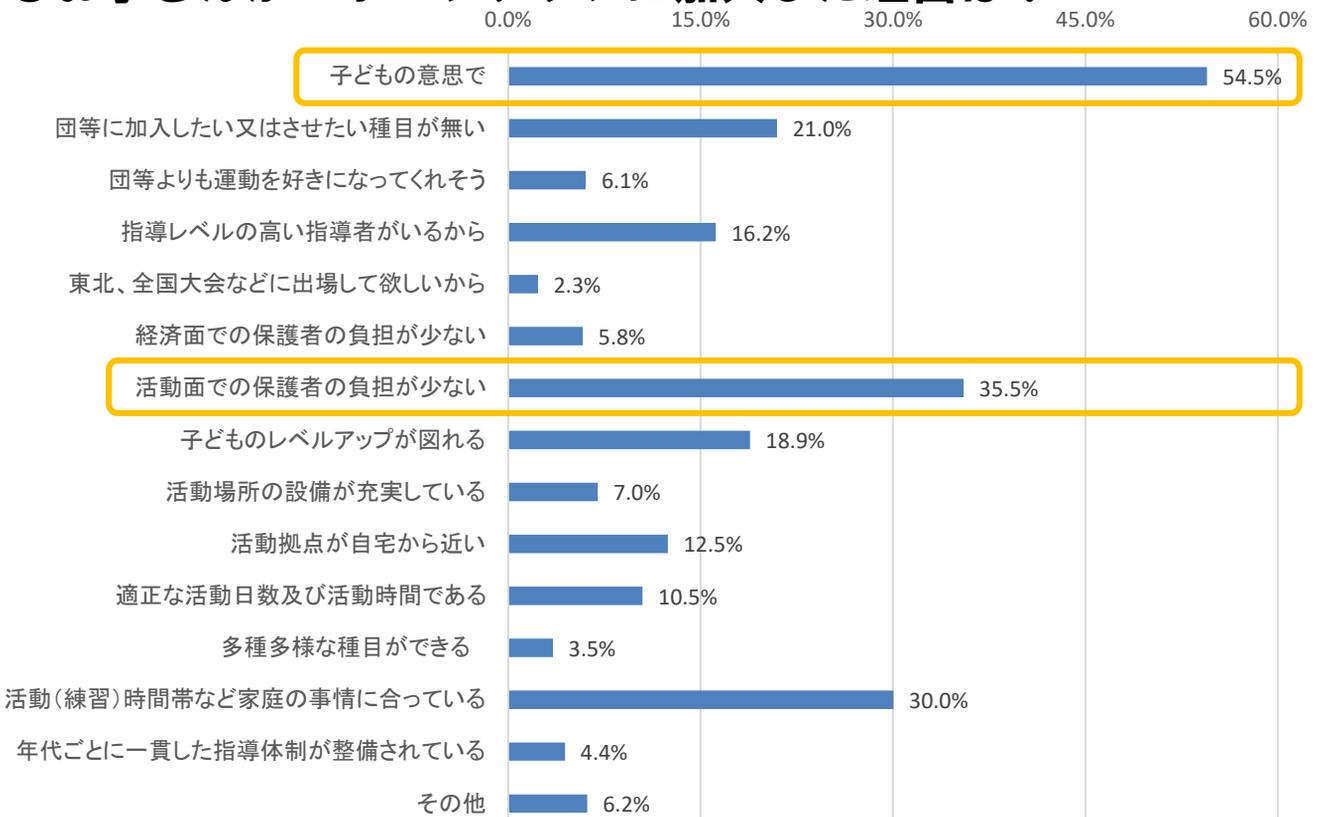
調査結果  
から

■団等、スポーツクラブともに子どもの意思を優先して加入させています。スポーツクラブを選択する理由に「活動面での保護者の負担が少ない」が多いことから、逆に団等は負担が大きいと想定されます。

## ◎お子さんが団等に加入した理由は？ ※回答3つ以内



## ◎お子さんがスポーツクラブに加入した理由は？ ※回答3つ以内

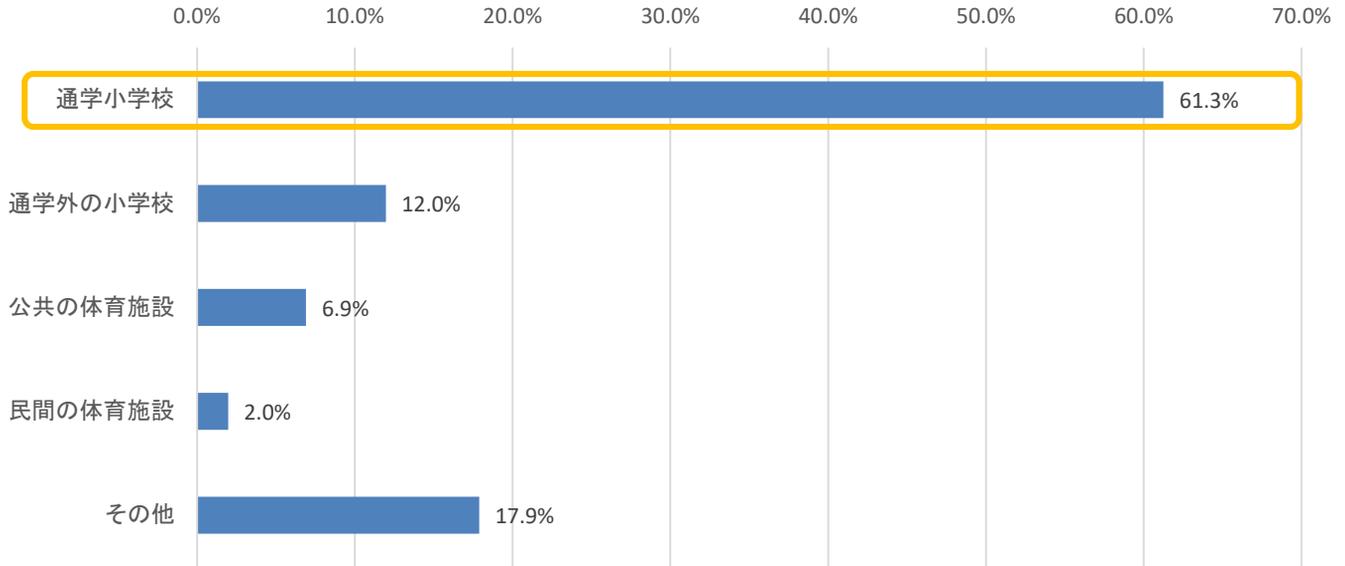


# 2 スポーツ少年団の活動状況について

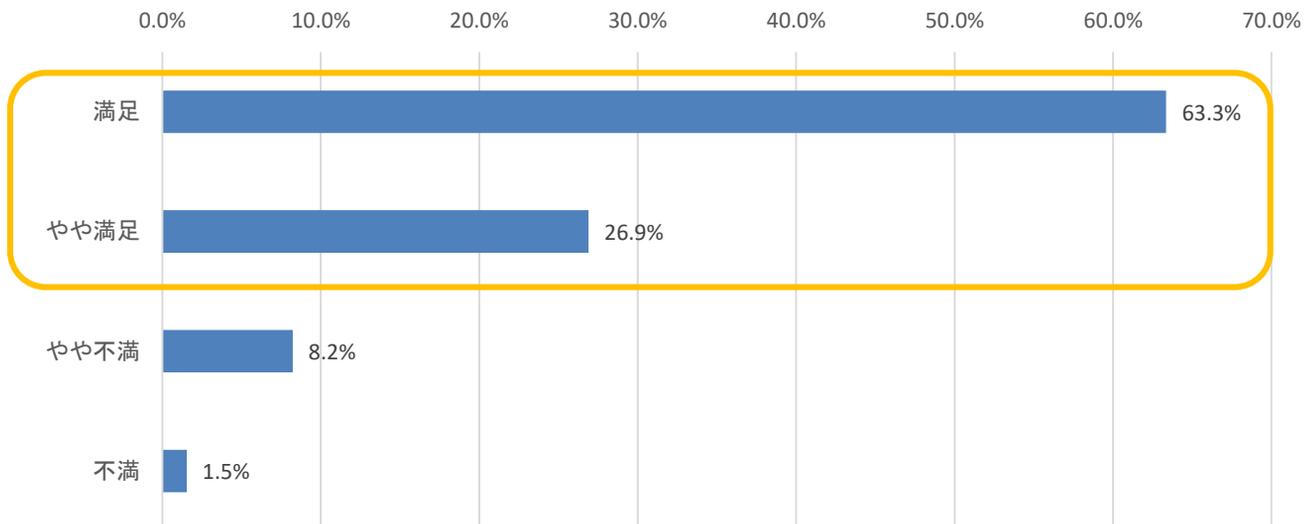
調査結果  
から

■通学している小学校が過半を占めており、活動場所についてはおおむね満足していることが伺えます。

## ◎主たる活動場所と、保護者から見た活動場所の満足度は？



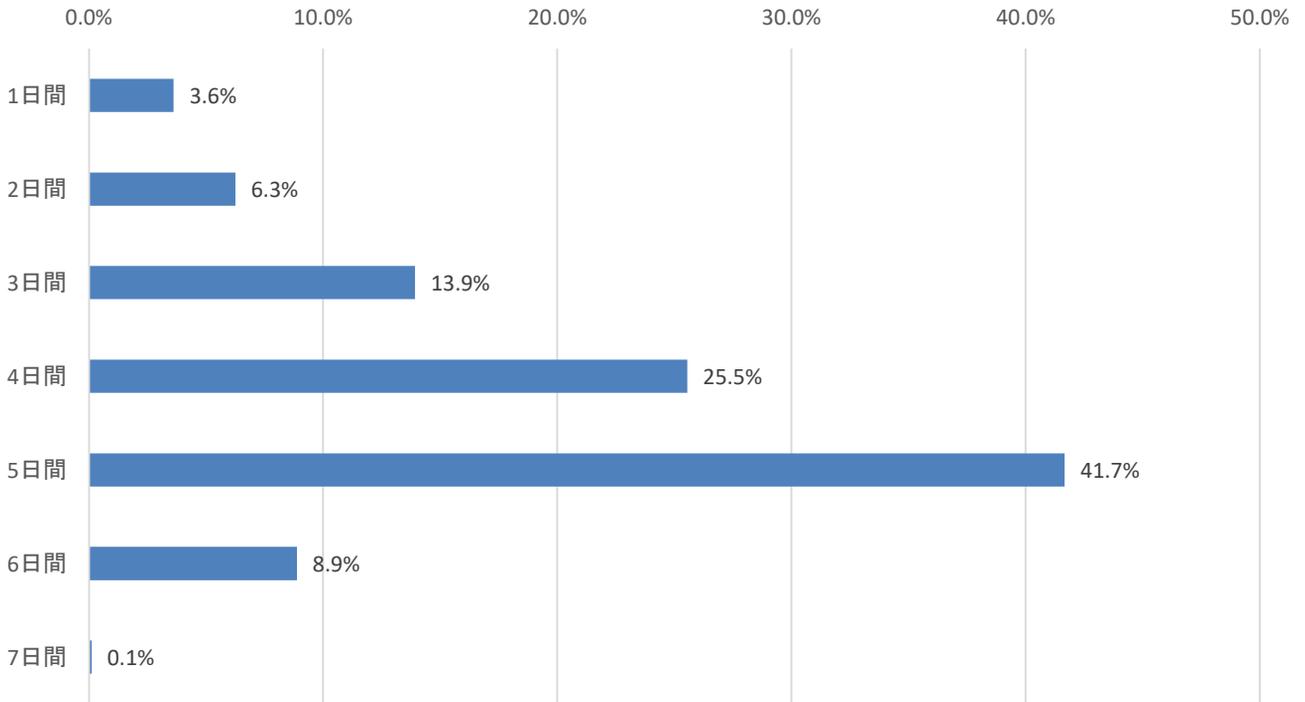
※その他の中には、通学小学校、通学外の小学校、公共の体育施設などを複数の活動場所を転々としているという回答が複数あった。



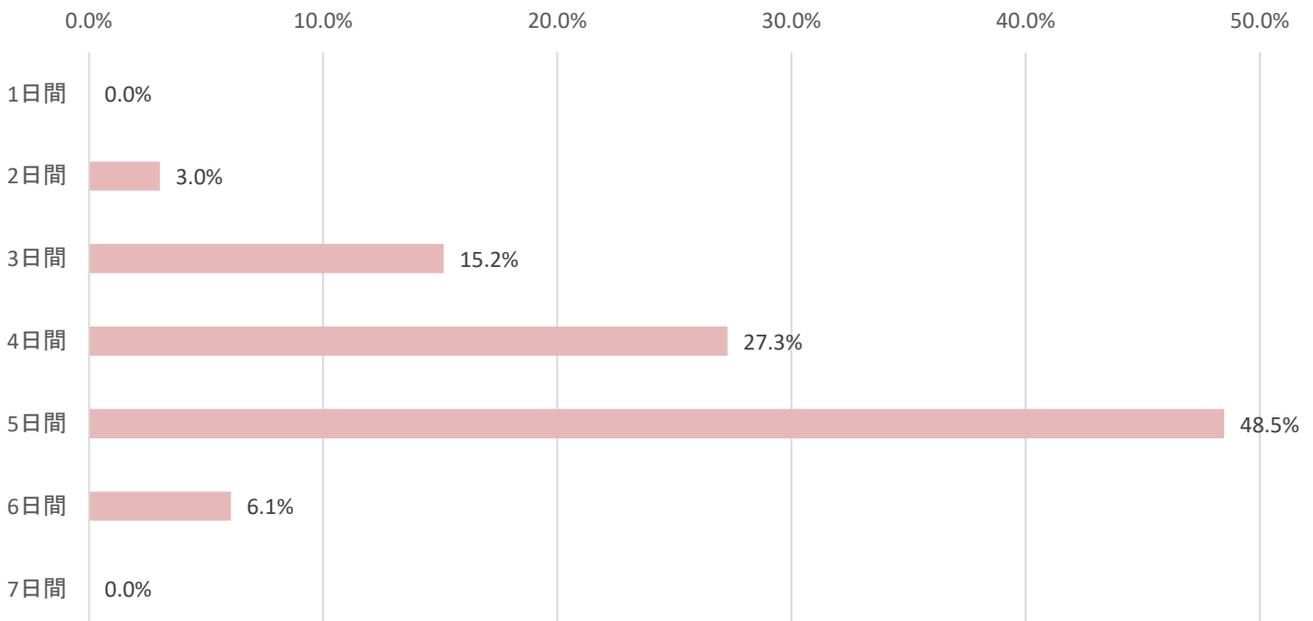
調査結果  
から

■練習日数の実態と指導者が適正と考える練習日数の傾向がほぼ同じことから、スポーツ活動の指針が守られているものと考えられます。

## ◎ 1週間の平均練習日数は？



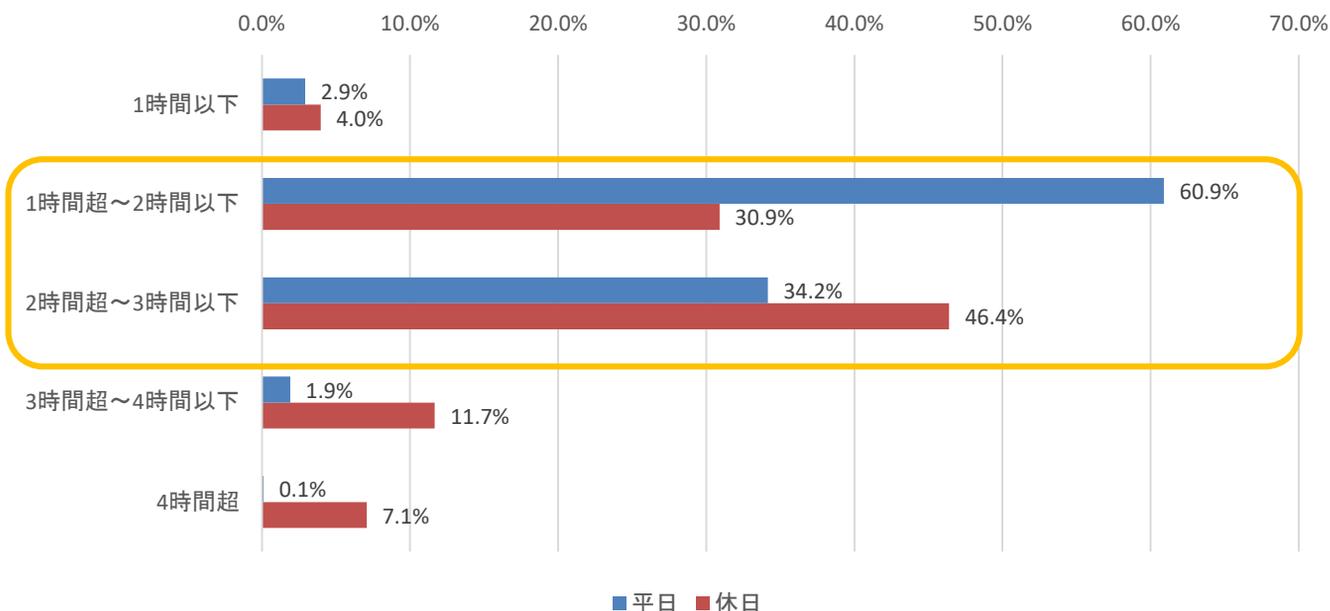
## ◎指導者が適正と考える練習日数は？



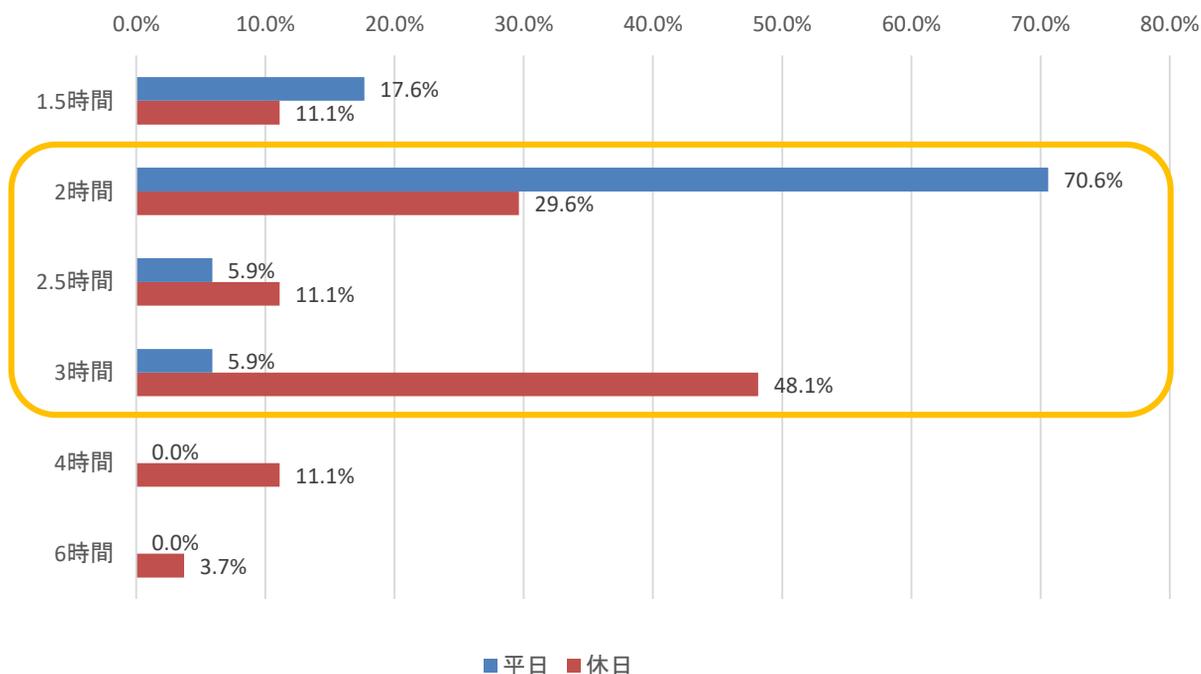
調査結果  
から

■指導者としては、平日は2時間、休日は3時間が適正な練習時間と考えられており、スポーツ活動の指針が守られているものと考えられます。

## ◎1回の平均練習時間は？



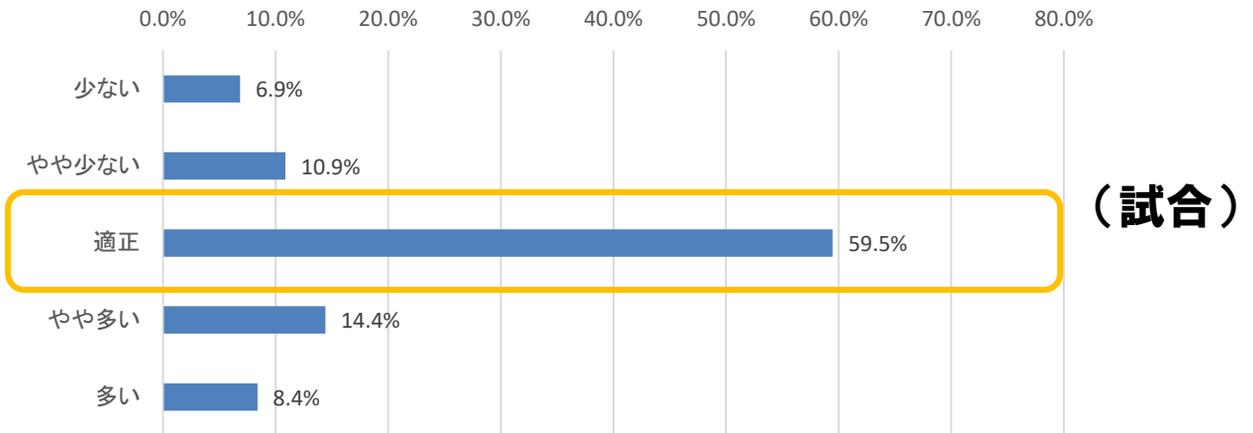
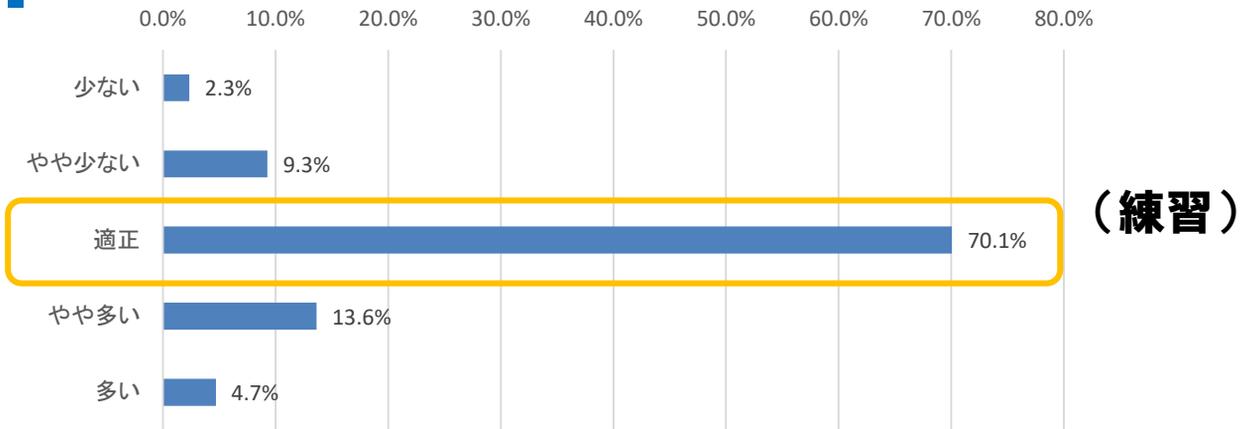
## ◎指導者が適正と考えている1回の平均練習時間は？



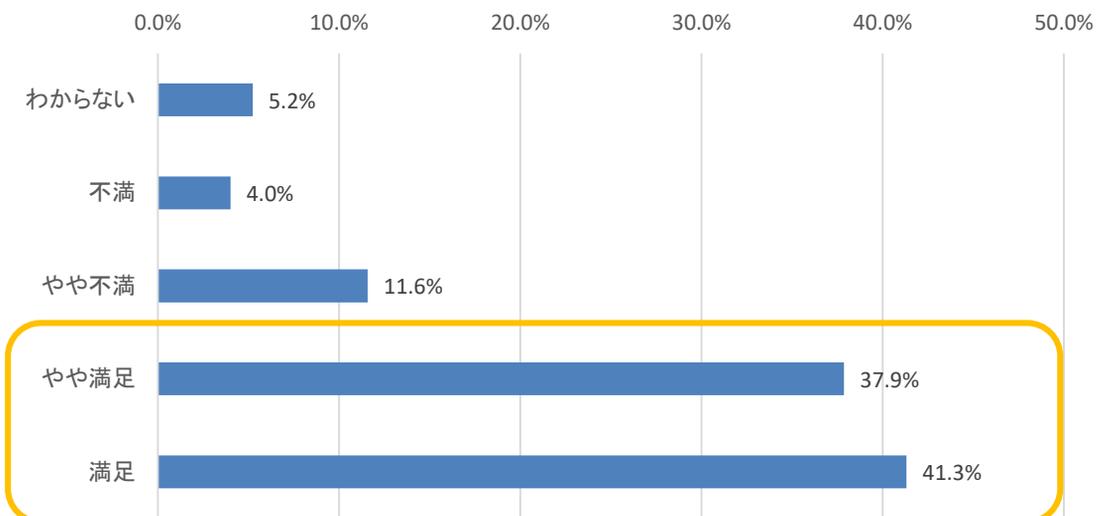
調査結果から

■練習・試合ともに「適正」と考える割合が半数を占めています。  
■指導者の指導方法については「やや満足」、「満足」が大半を占めています。

## ◎保護者から見た活動頻度は？



## ◎保護者から見た指導者の指導方法の満足度は？



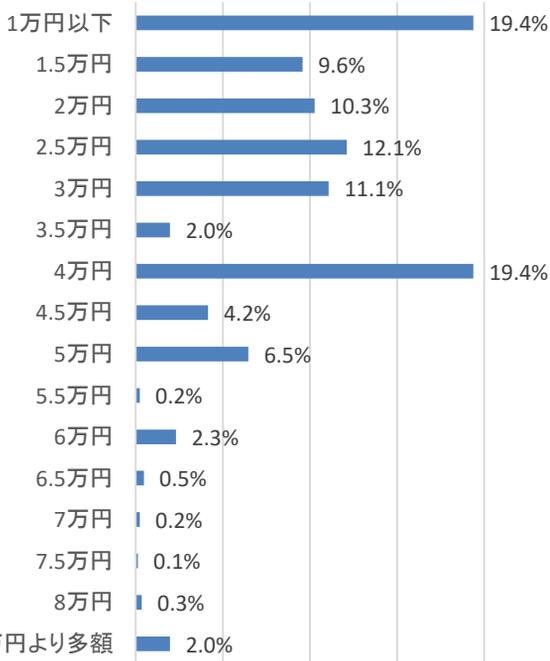
調査結果  
から

■活動にかかる費用は、団体によりまちまちですが、負担感は「適正」と感じている保護者が大半を占めています。

## ◎活動にかかる年間の費用は？

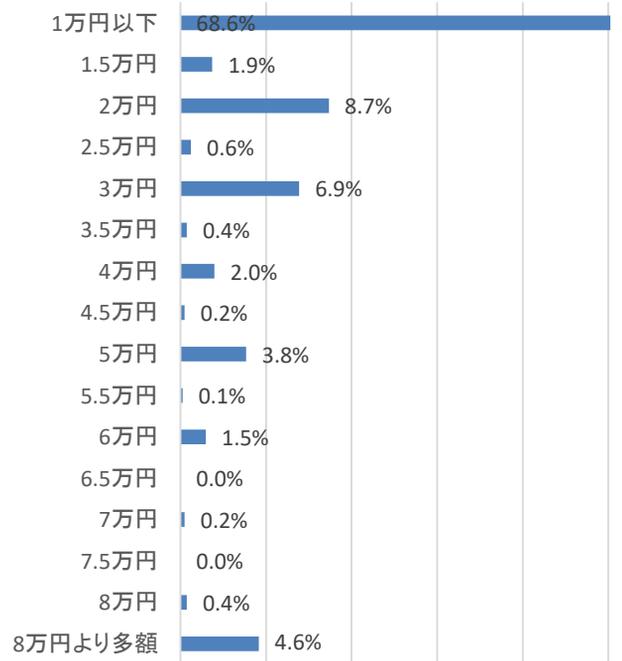
### 会費（年額）

0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0% 25.0%



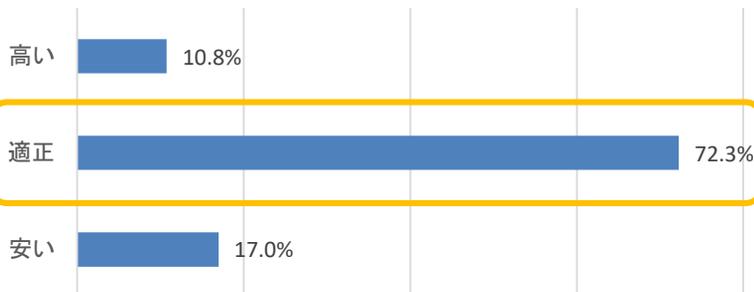
### 遠征・用具代等（年額）

0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0% 25.0%



## 費用への負担感

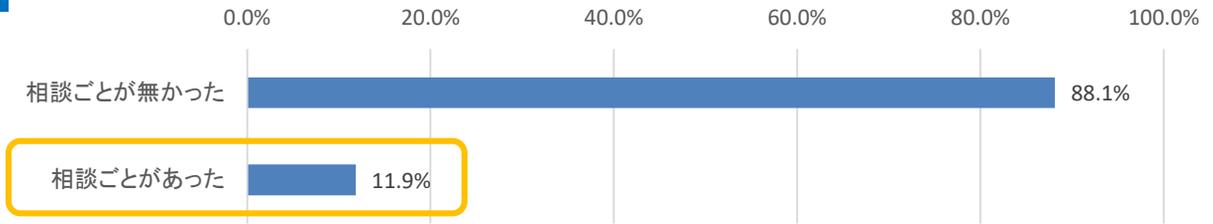
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



調査結果から

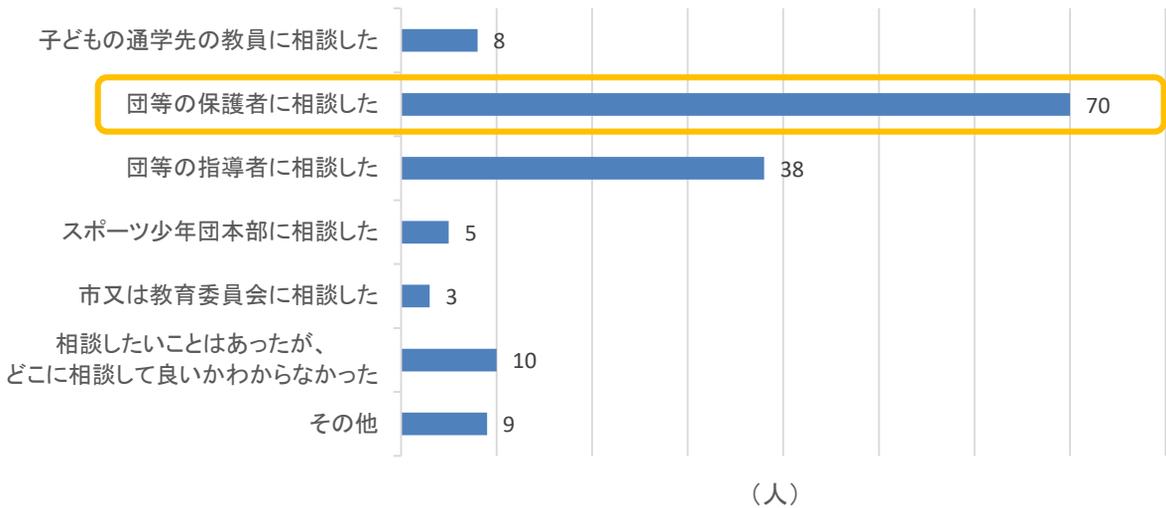
- 相談ごとがあるケースは多くありませんが、ある場合は学校よりも保護者同士で相談しているようです。
- 保護者の役割は練習の見守りなど多岐に渡り、負担の多さが伺えます。

## ◎団等に関する相談ごとは？



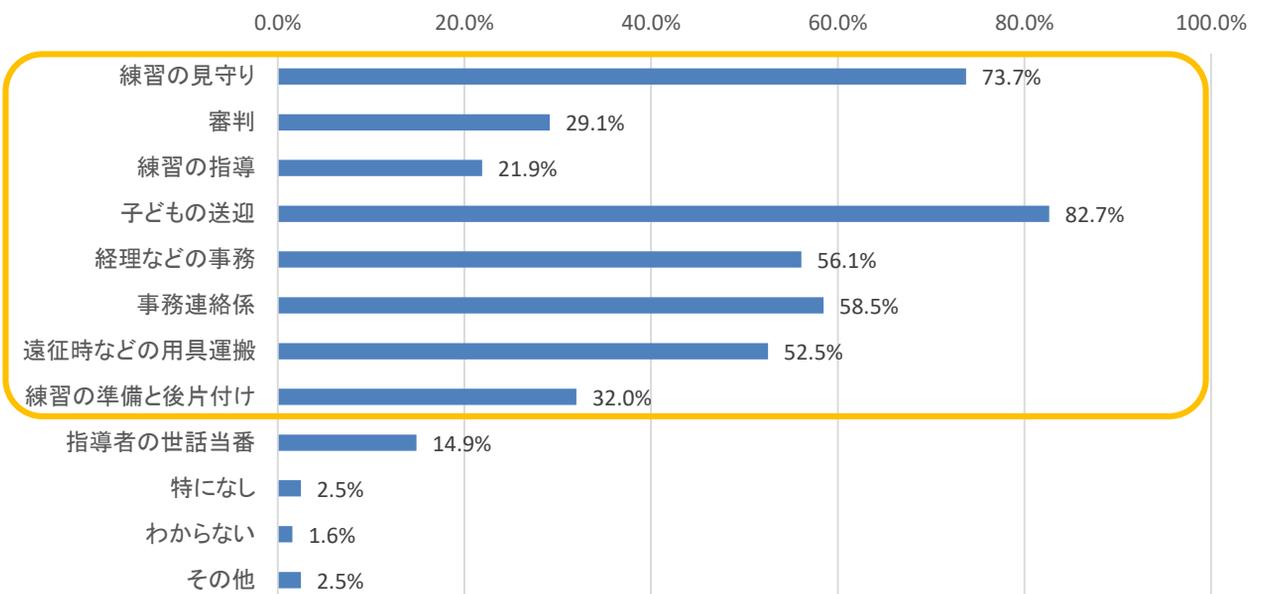
## ◎相談ごとがあった場合のその後の対応は？

※該当するものすべてに○



## ◎保護者の役割は？

※該当するものすべてに○



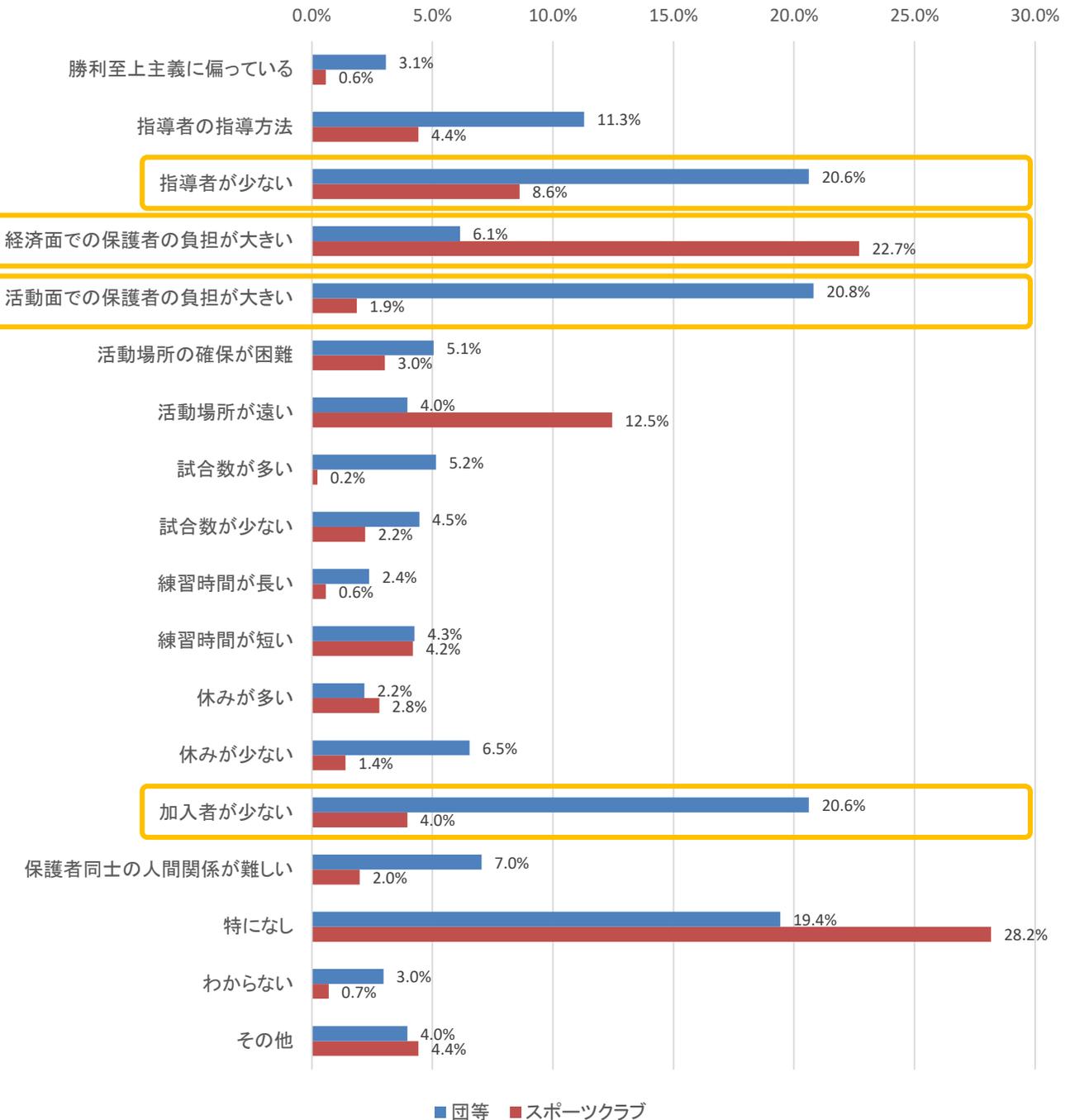
調査結果  
から

- スポーツ少年団は指導者関係や活動面での保護者の負担、加入者・指導者の減少などが課題となっています。
- スポーツクラブは保護者の活動面での負担が少ない代わりに、経済面での負担、活動場所への移動を問題視している割合が高くなっています。

## ◎保護者から見た、 団等、スポーツクラブ の問題点は？

※回答3つ以内

|                     |       |
|---------------------|-------|
| 団等に参加している子の保護者      | 1,009 |
| スポーツクラブに参加している子の保護者 | 859   |

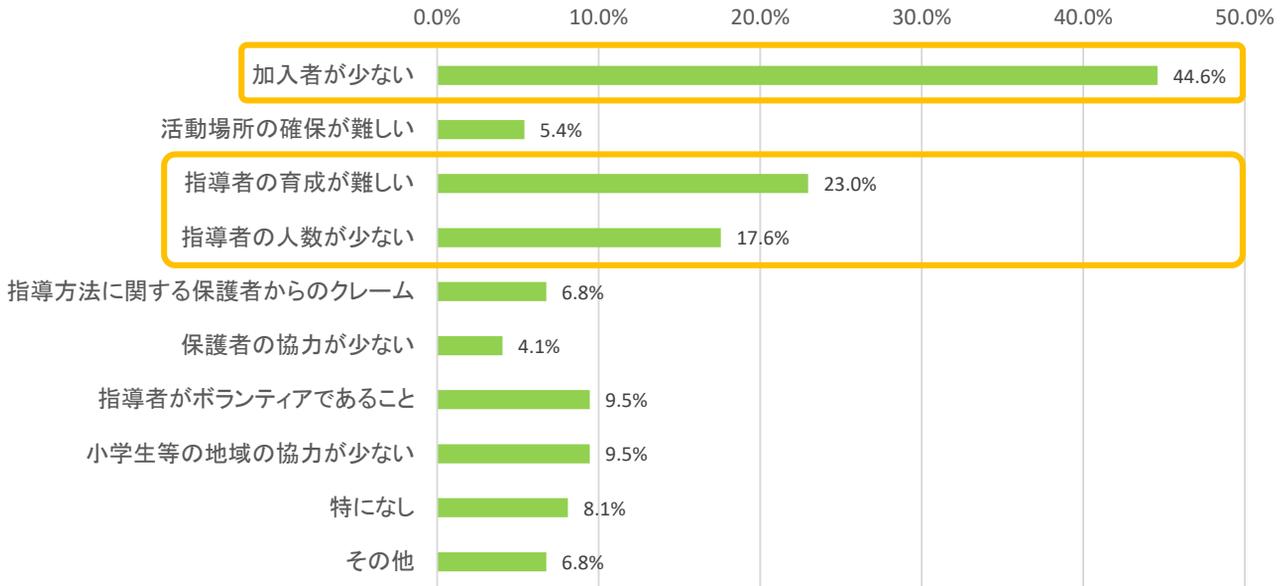


調査結果  
から

- 指導者の立場では、保護者と同様に「加入者・指導者が少ない」ことを問題視している割合が高くなっています。
- 学校との関わりは、半数以上が団のことや児童の様子などについて情報交換などを行っていることが伺えます。

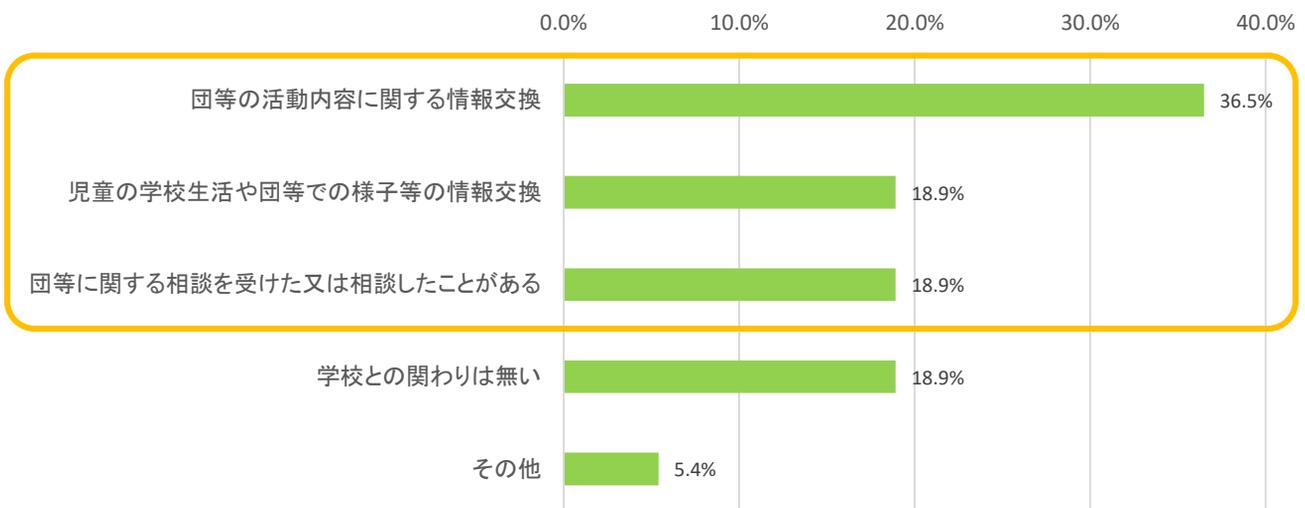
## ◎指導者から見た、団等、スポーツクラブの問題点は？

※回答3つ以内



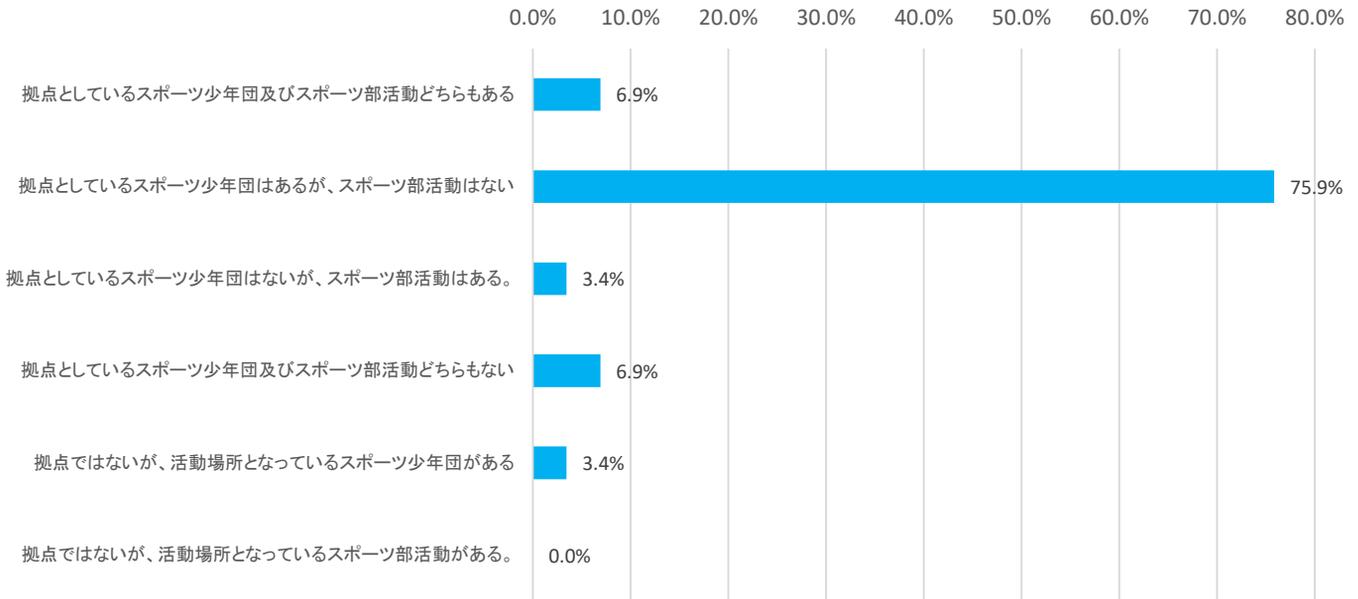
## ◎指導者と団等へ加入している児童の通学先の学校との関わりは？

※該当するものすべてに○



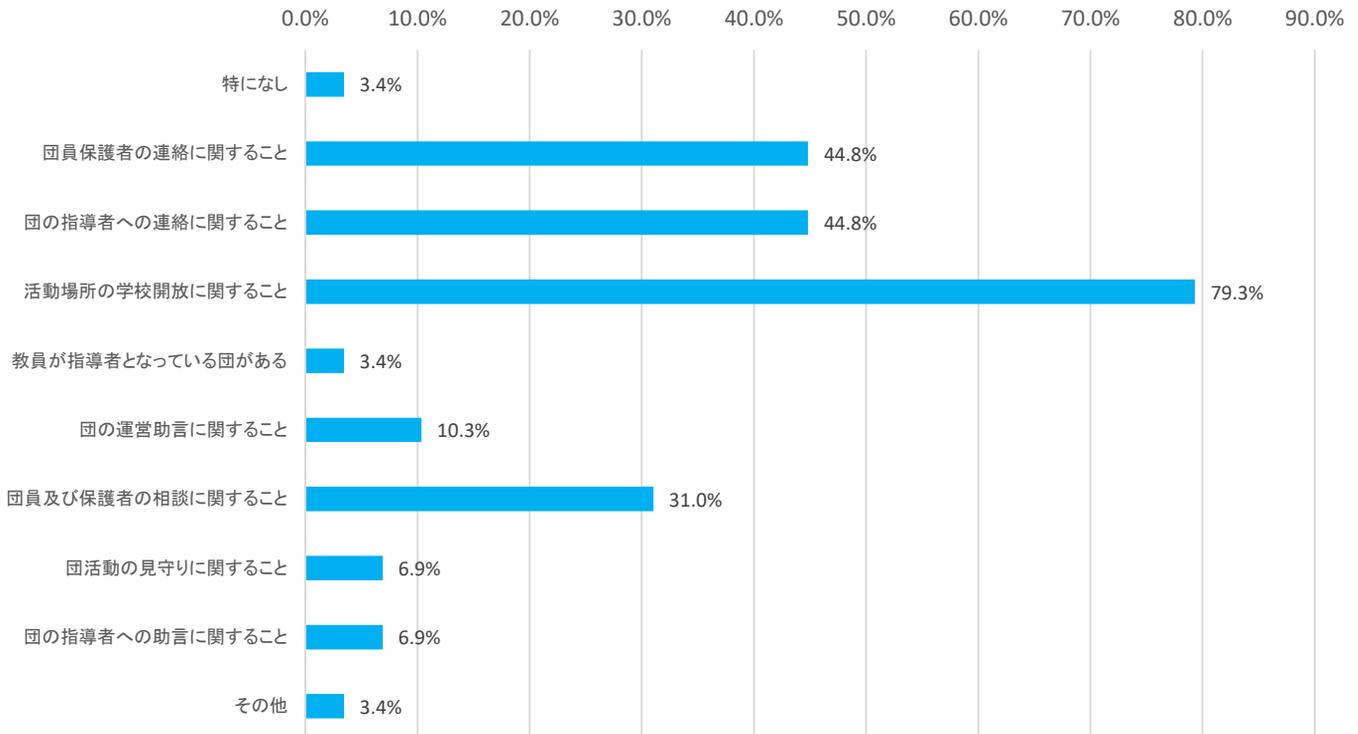
# 3 学校とスポーツ少年団との関わりについて

## ◎貴校を活動拠点としている団等は？

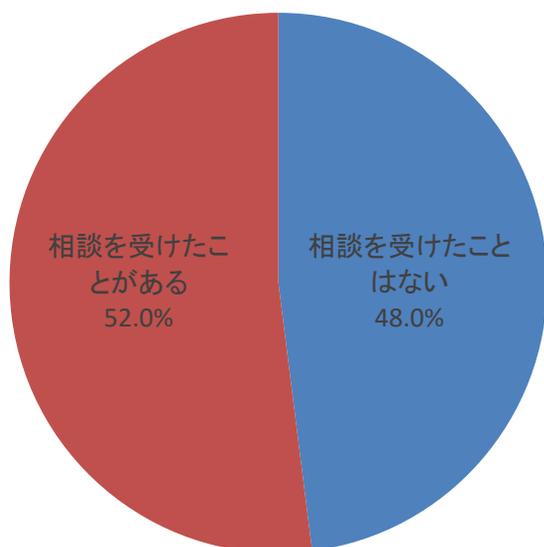


## ◎貴校がスポーツ少年団の運営等に関して連携していることは？

※回答3つ以内

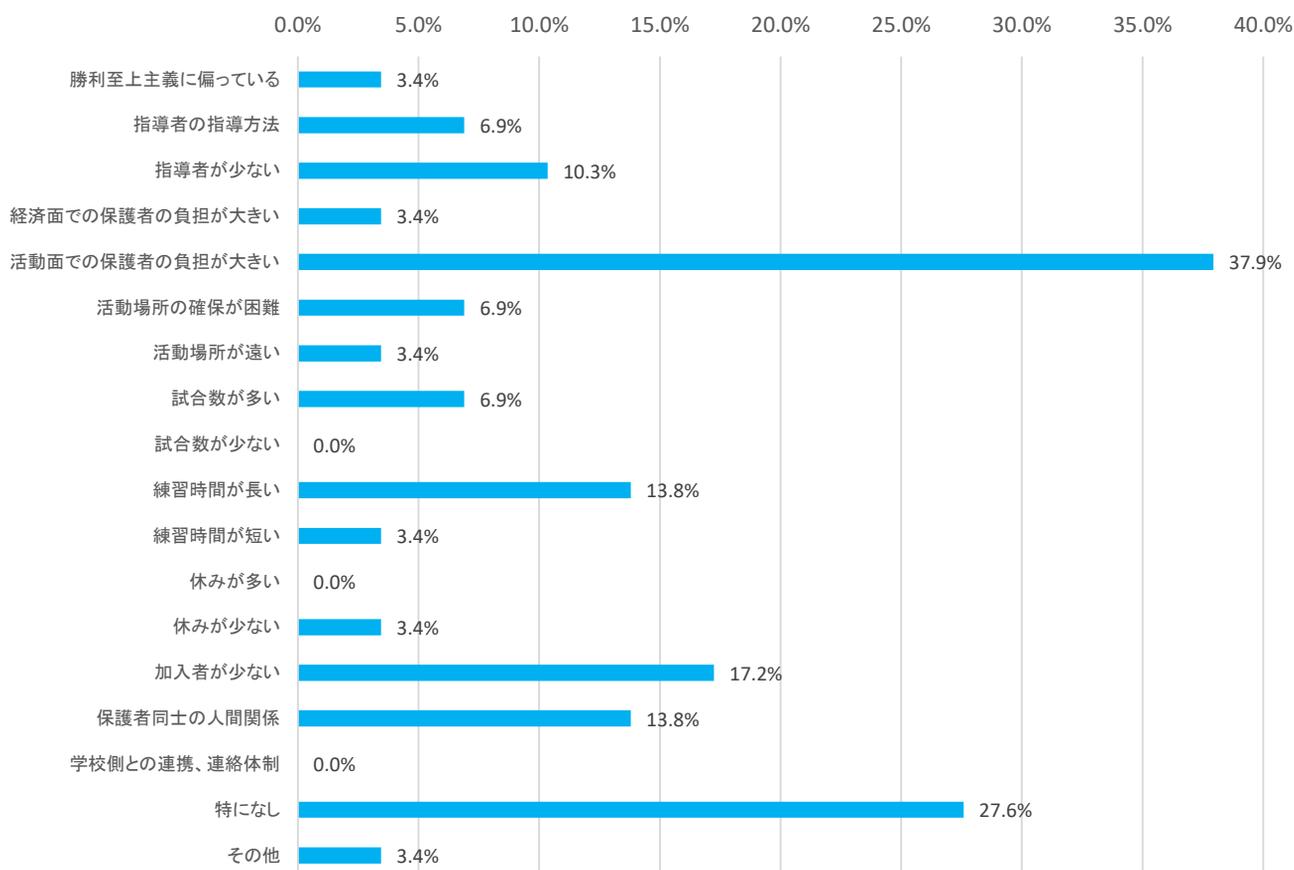


## ◎団員等の保護者や指導者から団等の活動について相談を受けたことは？



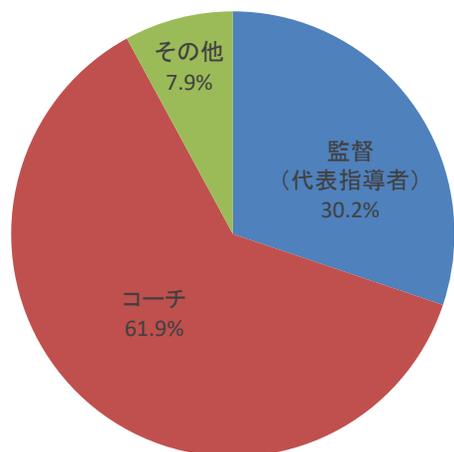
(※) 設問に「ここ1年」などと期間を定めなかったため、長い教員生活の中で過去に相談を受けたことがある場合は「相談を受けたことがある」と回答していると推察されることから、P9の保護者の「通学先の教員と相談した」の回答数と差異があると考えられる。

## ◎貴校から見た団等の課題は？ ※回答3つ以内

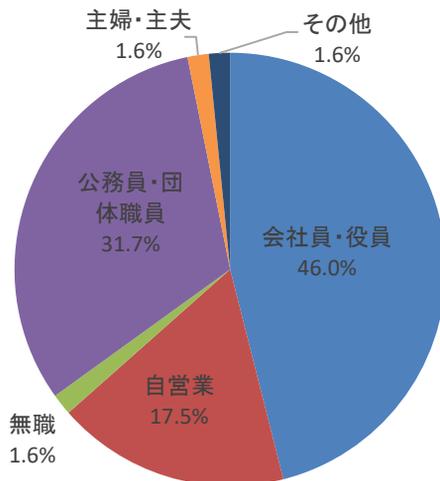


# 4 | スポーツ少年団の指導者について

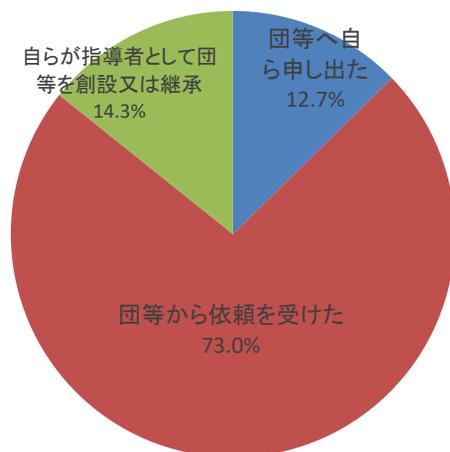
◎指導者としての立場は？



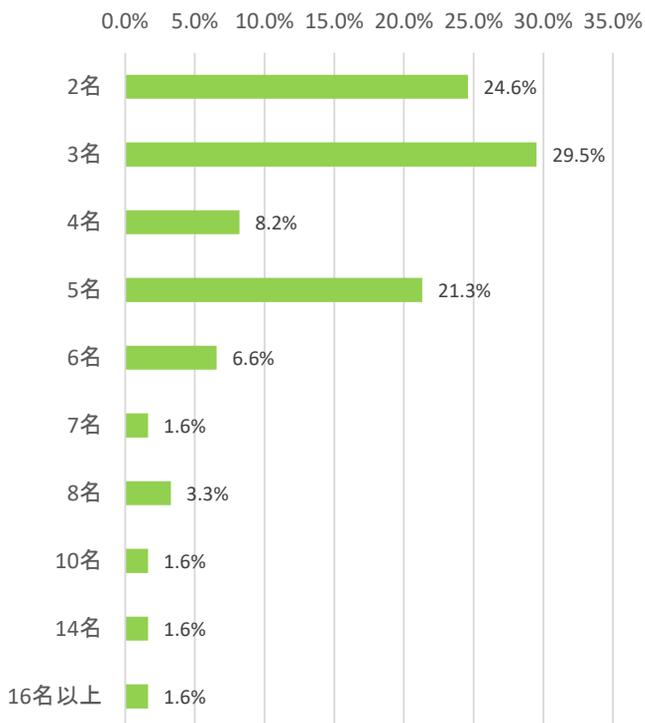
◎指導者の職業は？



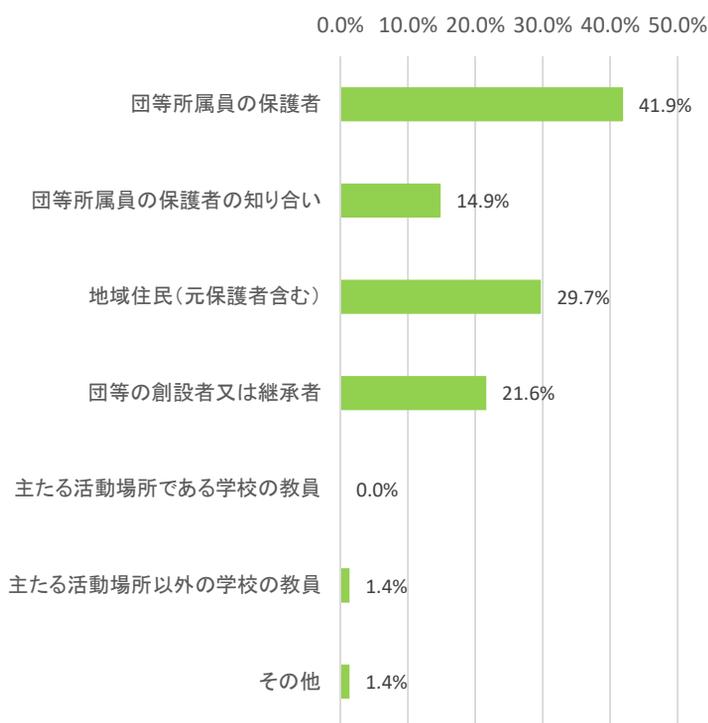
◎指導者になった理由は？



◎指導者（監督・コーチ）の人数は？



◎指導者と団等との関係は？ ※該当するものすべてに○



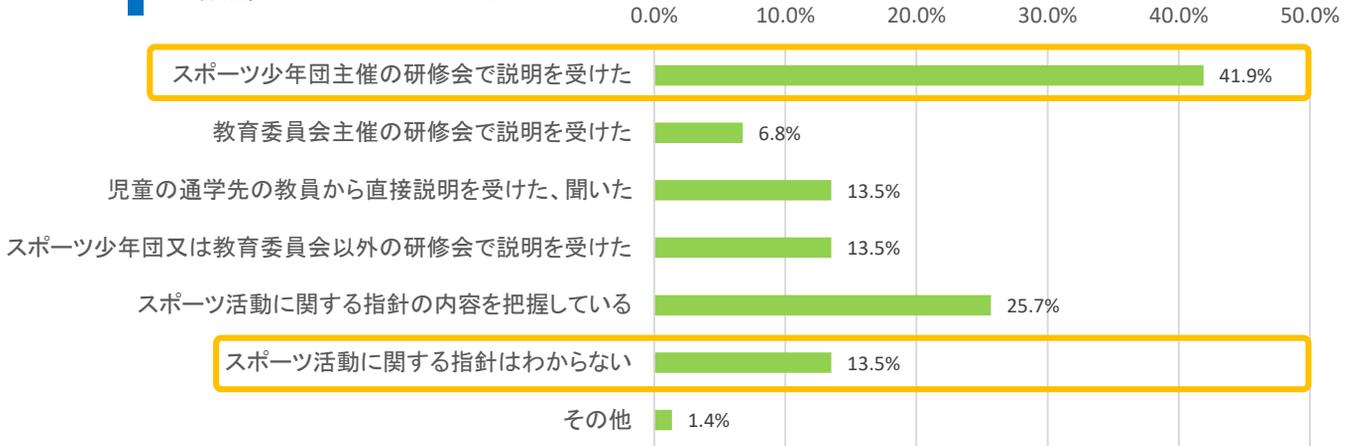
調査結果  
から

■主にスポーツ少年団主催の研修で指針を把握しているようですが、指針を知らずに指導している者も、少数いるようです。

■指導者は、子どもたちに対して競技力の向上よりも、運動の楽しさや協調性、努力の大切さを知って欲しく、自己の指導力の向上を図りたいようです。

## ◎スポーツ活動に関する指針の把握状況は？

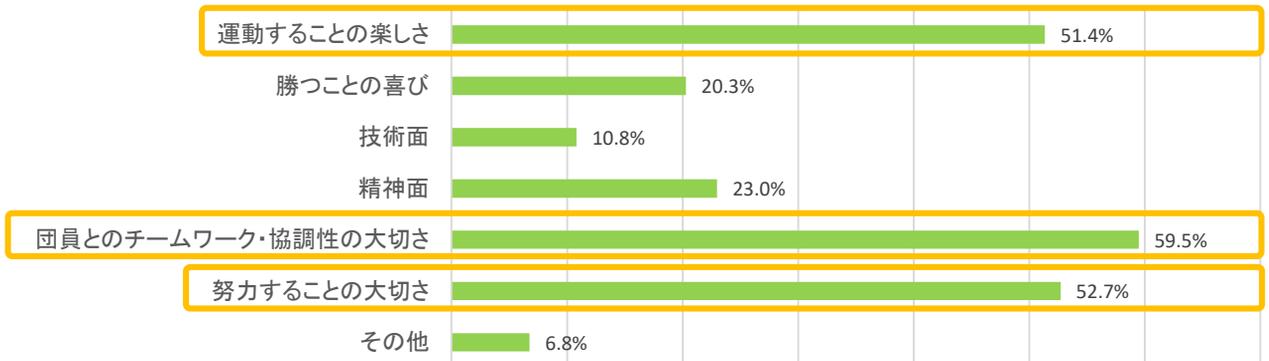
※該当するものすべてに○



## ◎団等の指導者として子どもたちに伝えたいことは？

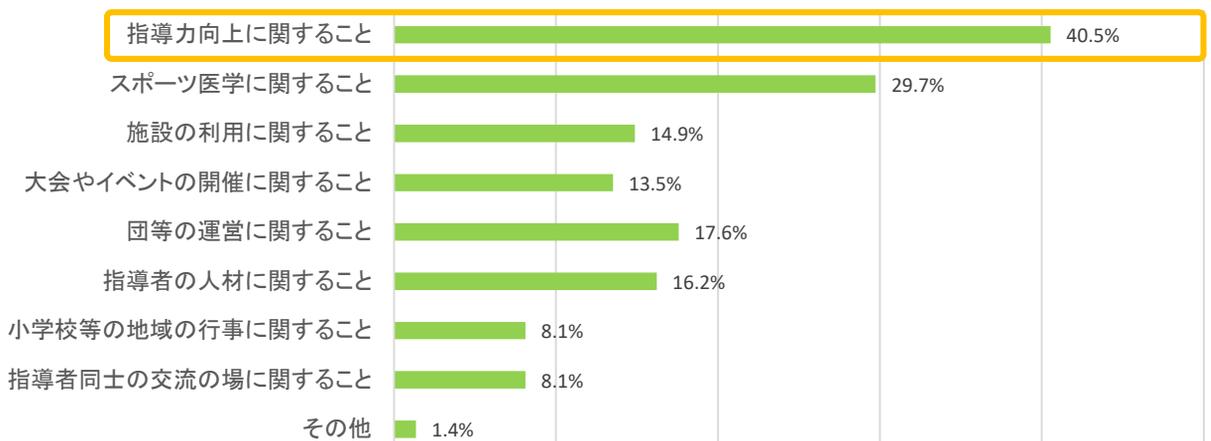
※回答3つ以内

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0%



## ◎指導者として最も入手したいと思う情報は？ ※回答3つ以内

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

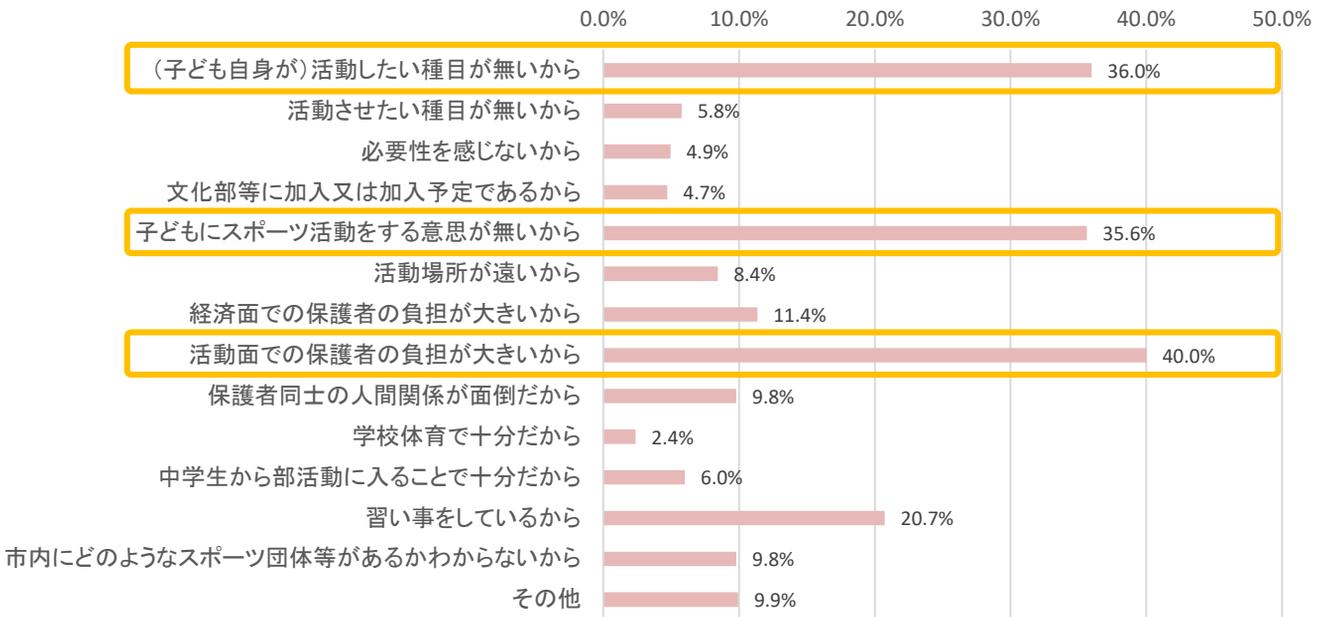


# 5 スポーツ団体等に参加していない理由等について

調査結果から

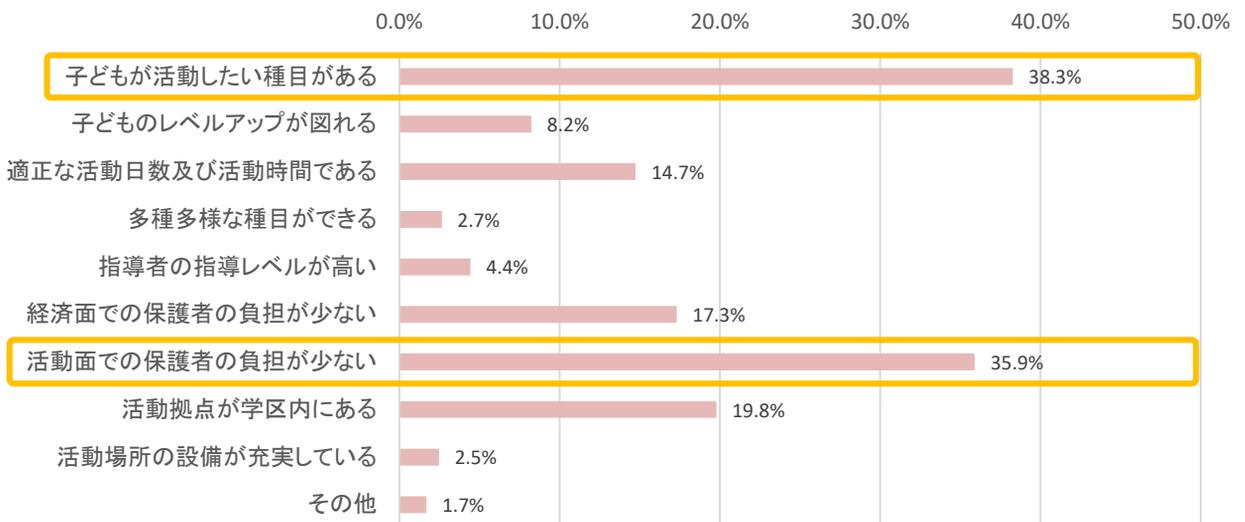
■加入していない理由「活動面での保護者の負担が大きい」、「活動したい種目がない」の割合が高く、加入させたいと思う環境と対峙の関係にあります。その他、「子どもにスポーツ活動をする意思が無い」の割合も高い結果となりました。

## ◎スポーツ団体等に参加していない理由は？ ※回答3つ以内



## ◎スポーツ団体等に参加させたいと思う理想の環境は？

※回答3つ以内



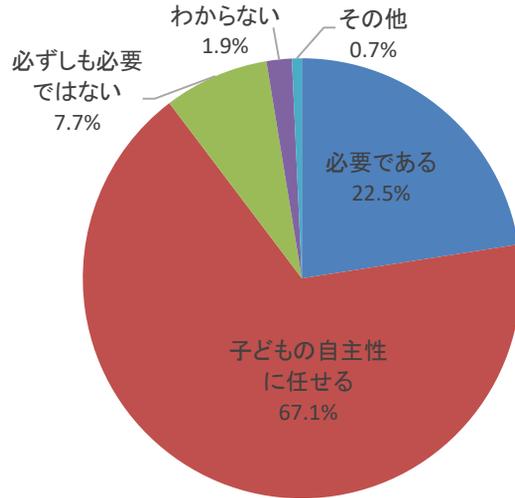
# 6 児童のスポーツ活動について

※全員が回答

調査結果  
から

- 児童のスポーツ活動は、子どもの自主性に任せると考えている方の割合が高くなっています。
- 今後実施して欲しい市の施策について、保護者は「公共スポーツ施設の使用料無料化」、指導者は「スポーツ団体等への補助制度の充実」、学校は「地域が主体となったスポーツ活動団体の育成」と回答者の立場により異なり、多様な施策の展開が求められています。

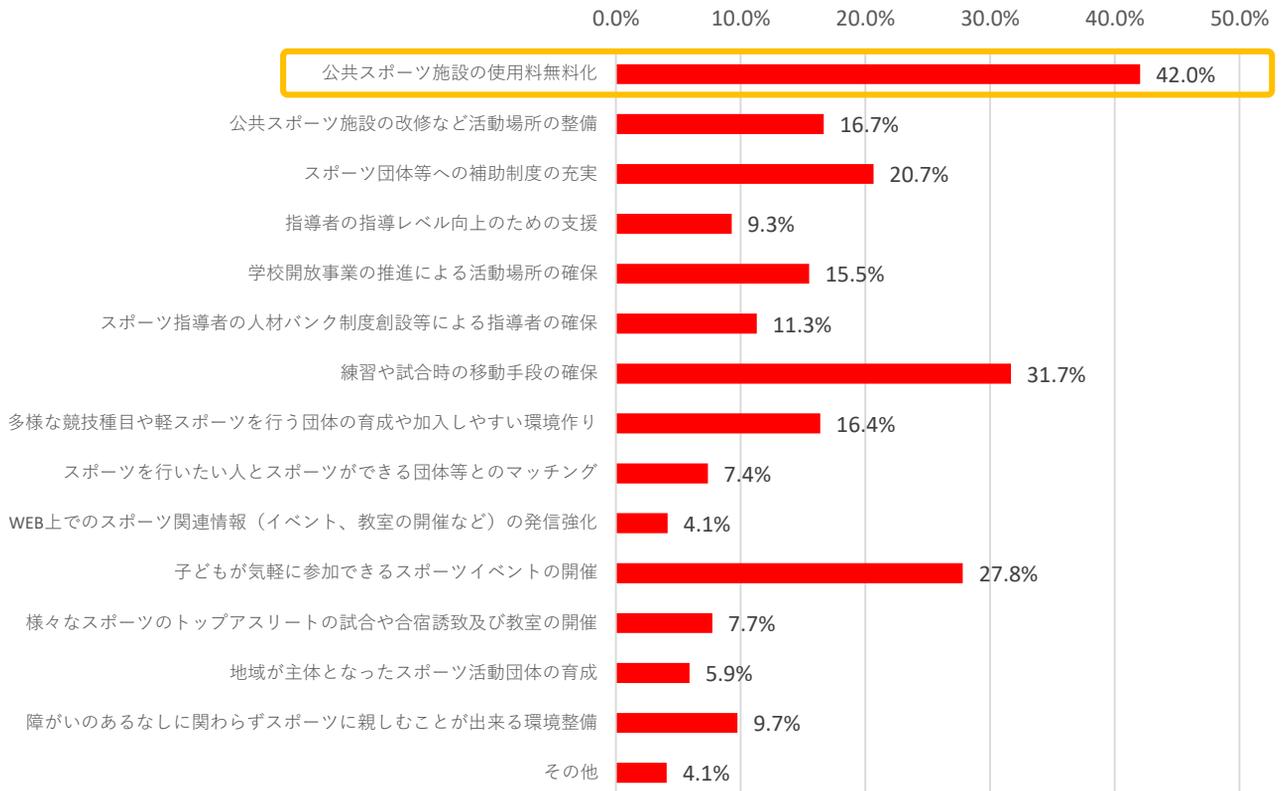
## ◎学校体育以外のスポーツ活動は必要？



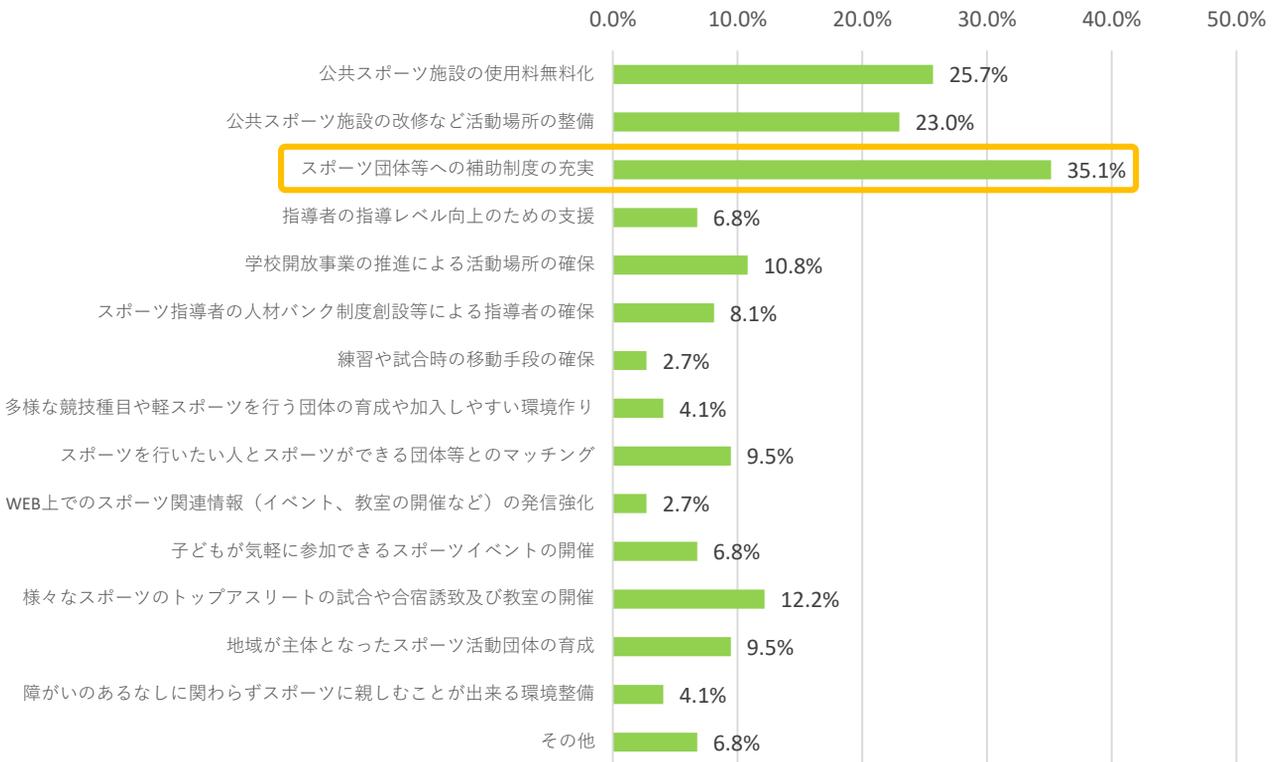
## ◎児童のスポーツ活動に関し、今後実施して欲しい市の施策は？

※回答3つ以内

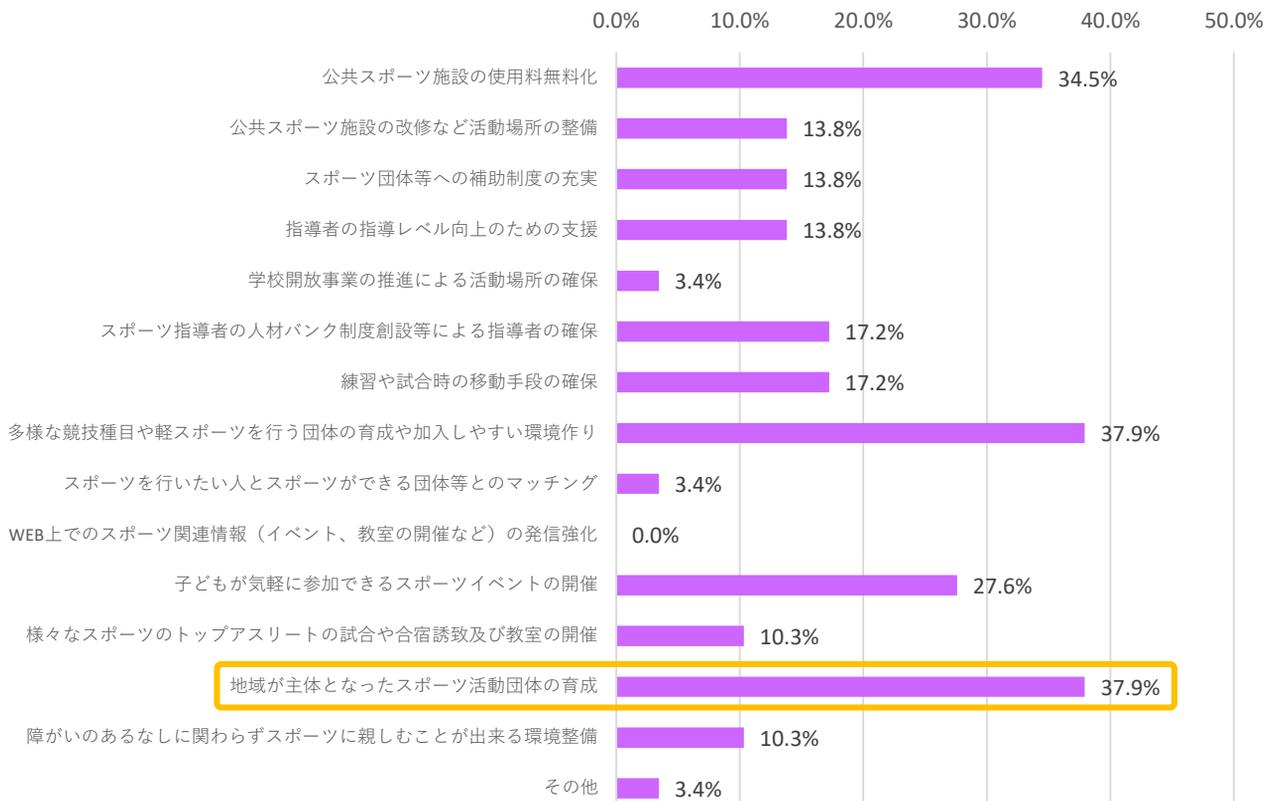
回答者：保護者



## 回答者：指導者



## 回答者：学校



# 7 | 自由意見

## 【保護者の自由意見】

### ◎指導者について

- ・時代が変わり指導の仕方が変わらない様子を見ると今の時代に合わない人もいます。もっと指導者が勉強する場があってもいいのでは。
- ・種目ごとの専門の指導者の派遣希望。
- ・ボランティアで指導者をお願いするのは限界。指導者の立場や制度のより良い改善をお願いします。
- ・指導者の人数不足。
- ・指導者の中に罵声を浴びせたり、差別するような人がいる。
- ・子供達がスポーツ活動に対して楽しく向上心を持ってもらえるように、怒鳴ったり罵つたりの教え方がなくなるように講習会を行っていただきたい。
- ・部活動を復活して欲しいが、先生も忙しいので、報酬を払ってでも地域の人が指導をするような仕組みになって欲しい。
- ・勝利至上主義の指導者が多く、下手な子ども、楽しく運動したい子供が辞めていく。
- ・過度な練習、試合量を求める指導者がいる。
- ・スポーツ指導者の人材バンクなど希望。
- ・柔道が全国大会を中止したように、他のスポーツでも勝利至上主義をやめてほしい。
- ・指導者に意見を言いたくても、言えない保護者が多いと思う。
- ・競技のスキルを育てるだけでなく、人間性や各子供の成長にも主眼を置いた指導を望みます。
- ・運動することの楽しさを教えるような指導方法を希望する。
- ・体の故障を防ぐため、コーディネーションなどを指導してくれるトレーナーを団体に派遣するようなシステムがあると助かります。
- ・指導者への手当が市からもあればいいと思う。

### ◎活動の種目について

- ・（田舎の方など）人数の少ない学校、地域にはスポ少すらなく、お金を掛けてクラブチームに参加するしかないというのは家庭環境によってはやりたくてもできない。
- ・小学校で活動したスポーツが、進学先の中学校の部活にないケースが多い。
- ・やりたい種目のために親が遠くまで送迎しなくてはならないので負担になる。
- ・近くの学校間で放課後に集まって〇〇小学校は野球とバドミントン、△△小学校はサッカーとバレーボールなどと選択してスポーツが出来るととても助かります。学校間の移動はバス等で送迎してもらえると気軽に参加出来ると思います。

## ◎学区内での活動希望について

- ・学区内でスポーツ活動ができる環境を整えて欲しいです。
- ・学校が終了した後に児童センターだけではなく、スポーツできる環境があるといい。
- ・子どもが一人でも歩いて行けるように学校とかでのスポーツ活動を増やして欲しい。

## ◎親の負担について

- ・活動場所への送迎が本当に負担。
- ・仕事をしている中での送迎、見守り（立ち合い）がとても厳しい。
- ・両親が共働きで、活動に参加出来ない場合、肩身の狭い思いをする。
- ・月1回程度の楽しめる活動が増えて欲しい。
- ・親の負担が多すぎるので、学校の先生達の協力がもっと欲しい。（平日の活動見守りや指導など）
- ・月に6回、土日両方試合など、試合に関する負担が大きい。

## ◎金銭面について

- ・遠征の際の補助金制度を設けていただけるとありがたい。
- ・就学援助は、部活などの面でも援助して欲しいと考える。
- ・一人親で生活が苦しく、子どもの希望を叶える事ができない。
- ・多子家庭の場合、家計が苦しく、スポーツ活動まで負担することが難しい。

## ◎学校との連携について

- ・学校開放について、学校によっては、19時以降の活動には協力できないと言われることがあります。親の送迎を考えると早い時間帯の活動は難しいため、例えば4年生以上であれば可能などのルールを作っていただけるとありがたいです。
- ・放課後の校庭の有効活用。週に1回でも自由に使用できるようにして欲しい。
- ・学校側は、よく話も聞いてくれ協力してくれますが警備員の対応に困る時がある。
- ・学校側の協力を得られるようになってきたが、校長先生が変わる度に今まで良かったことができなくなったり、逆にできるようになったりと大変。
- ・学校のグラウンドや体育館、プール等を活動場所として使いやすくして欲しいと思う。

## ◎気軽に様々なスポーツができる環境について

- ・気軽にちょっと運動を楽しむことができる機会の充実。
- ・運動が苦手な子向けの運動教室の開催。
- ・子どもがたくさんスポーツと触れ合う機会、出会う場を増やしてほしい。例えば学校の授業や体験学習などを通して、すべての子どもが等しく受けられるように。
- ・大人と一緒に参加できるスポーツ活動があっても良いと思う。
- ・「野球」、「サッカー」という種目に当てはめるのではなく、「ボールを投げるのが苦手」、「走るのが苦手」、「なわとびが苦手」など、まずは苦手なものを普通にできるようになって欲しいので、放課後、教えてくれる人がいると嬉しいです。
- ・スポーツを「競技」に限ることなく、のびのび活動するという点も視野に入れ支援していただけたらと思います。
- ・放課後スポーツクラブに子供が楽しく参加していて（スポネットのコーチが来て色々なスポーツを体験させてくれていました。）とても良い活動でした。
- ・各学区にある体育館や公民館などを利用して、月に1~2回でも、児童向けのスポーツの講師が来て教えていただけるミニ教室を充実させると、スポーツの苦手な子でも、気軽に参加したりと、体を動かすことができると思います。
- ・小学校の部活動に民間の事業者が介入して指導を行ってくれる体制を早く作って欲しい。もちろん、経費は利用者負担が良いと思うが、一部は行政からの補助もあっていいと思う。

## ◎学校の先生について

- ・学校の先生のメンタルが一番心配です。誰かの不満につながる事ならばいっそもやなくて良いです。
- ・学校スポーツ部活動が教員のみなさんの負担になっているのも十分にわかります。しかし、部活動が学校教育の一部として大きな役割であることと、子供達の親交を深める場であると考えれば縮小の傾向は残念に思います。
- ・教師の中にも指導したい人はいると思う。時間外手当や給料を割増しにするべき。教師にも家族がいます。せめてきちんと賃金として出すべきです。
- ・学校側は働き方改革を進め、部活動＝スポ少で、保護者主体の運営となり、仕事を持つ家庭では、土日は団の活動となり、なかなか休日の時間が使えない状況です。団の運営を含め、地域での活動、指導者の活用など、学校と一緒に運営していける方法がないものかなと思います。
- ・今後、中学校も先生ではなく、学校と部活を切り放していくと聞いています。保護者負担をさけて子どもを部に入れられないという場合も出てくると思う。

## ◎活動量について

- ・土日のほとんどが試合や練習試合となり負担が大きく、辞める人も出ると思う。
- ・様々な大会が多すぎる。その他、個々でやる大会など。もう少し大会の制限などして欲しい。毎週2試合をやり、体調を悪くする子供がいる。
- ・平日のナイター（試合、練習）は辞めてほしい。
- ・練習・試合のやり過ぎにより、親の負担だけでなく子どもが体を壊さないか心配。

## ◎障がい者スポーツについて

- ・周囲の子どもになじめず、つらい思いをしている発達障がいの子どもは、スポーツ活動に対し、ネガティブな考えを持っています。そのため、引きこもりがちになり、家庭でもストレスを溜めていると思います（運動不足による肥満も）。私が想像する以上に同じ思いを抱えている家庭がたくさんあると思うので、これからの子ども達の未来のため、ハンデのある子ども達を受け入れるスポーツクラブを増やして欲しいです。
- ・発達障がいの子どもはどうしても普通の子と同じスポーツ部に入れないので、それも残念だし、何か発達障がいの子どもでも参加できる機会があればなと思います。
- ・スポーツが得意な子だけでなく、スポーツが苦手な子や不登校の子、障がいのある子も本当は体を動かす機会が欲しいと思うので、参加のハードルの低い活動をぜひ作って欲しいです。

## ◎スポーツ活動ができる施設整備について

- ・屋内スポーツができる施設（冬場の練習場など）を充実させて欲しい。
- ・市内のテニスコートが少ない。増やして欲しい。
- ・人工芝の克雪トレーニングセンターにして欲しい。
- ・屋外のミニバス用コートが昔はもう少しあったはずですが、壊れてリングごと撤去されてただの広場になってしまい残念です。
- ・大学生のサークル活動のために公共スポーツ施設が貸し切りになっていて児童・生徒が気軽に施設を借りることができない。
- ・夏スキーができる施設があったらいいのと思います。
- ・50mの屋内プールがあれば良い。
- ・スケートボードパークの設置・活動できる場所が少ないため、抽選倍率が高くなっているのだと思います。

## ◎市役所・教育委員会への意見要望について

- ・市の制度をPRして欲しい。
- ・どういったスポーツ活動があるのか全くわからない。紙ベースで一覧があると良い
- ・民間クラブへの助成制度。
- ・親の経済力がそのまま、子のスポーツへ対しての取り組み(2極化)に繋がっていると感じている。市として、ハード、ソフト面を含め多角的な視点で助成を検討していただきたい。
- ・学校で部活動を行っていますが、用具が古くなってきているので新しい道具を用意して欲しい。
- ・スポーツ少年団本部や市など相談窓口やホームページなど明確化してほしいです。クラブ、団を突発的に見回るなども必要だと思います。
- ・スポーツ少年団本部がどんなことをしているのかわからない。ホームページを作って欲しいです。
- ・市のスポーツ振興課の方々も忙しいとは思いますが、見回りや相談にのれる場を作っていただきたいです。
- ・使用していない体育館やグラウンド等を活用できるようにして欲しい。
- ・プールの授業がほとんど設備の故障で出来ていませんし、授業だけでは泳げない。小学校にプールを作るのではなく、屋内プールを市内に作り1年中使えるようにしては。
- ・弘前市民体育館の改修、または建て替えを切にお願いしたいです。とても古すぎて、そして綺麗ではないので子供達も親たちもモチベーションが下がります。
- ・このアンケートをWEB上でできるようにして欲しい。
- ・公園の遊具や整備が気になります。子供が多様な動きをできるような公園づくりをしていただくことが競技でのパフォーマンス向上に繋がるのではないのでしょうか。
- ・大会出場回数が増えると学校を休む日が多くなります。高学年になり、勉強も気になります。リモート等で学習することができればと思います。
- ・スキーの授業ですが、全ての道具を毎年揃えるのは金銭的にとても難しいです。
- ・中学校ではどのような部活動があるのか知りたい。子がやってみたい競技のクラブをネットで探しても更新が途絶えていると活動しているのかわからず、見送ることが多かった。スポ少やスポーツクラブの一覧があればいいなと思った。
- ・広報でかけっこ教室など小学生を対象とした企画がたくさんされているが、16:00～などで共働きでは参加させられない。移動手段、保護者付き添いはどのような前提で企画されているのかなと思う。企画自体はいつも興味があるものが多いので、参加できず残念だった。
- ・転勤されてきた家庭や数年しか弘前にいない家庭は、スキー一式を揃えるのは大変な負担です。きっとサイズアウトのスキー用品もあると思うので、そういったものを学校が仲立ちとなり、貸し出して欲しいです。
- ・アンケートをもっとわかりやすいようにしてほしい。ダンスはしていますが、ダンスはスポーツなのか、文化として取り扱われるのか、分からなかった。
- ・運動公園の遊具をきちんと整備して使えるようにしてもらいたい。何年も整備されず、放置状態に見えます。せっかくの運動公園なのに子どもはそれほど楽しめるような感じに思えません。近年注目されているボルダリングも取り入れてもらえたら嬉しいです。
- ・公園等においても遊具は少なく、土地は狭く、キャッチボール禁止、サッカー禁止の表示もよく目にする。子供がのびのびと遊べるような、多種多様なスポーツを経験できる場所がないので、子育てやスポーツに関しては魅力のない地域です。

## 【指導者の自由意見】

- ・子供や親たちが一生懸命やってるのに、学校は見に来たりもしていないのに活動時間が長いとか言ってくるのを止めて欲しいです。子供や親が望むのならば見守るのも学校の役目ではないのでしょうか？学校では学べない事がたくさんあるはずです。
- ・加藤河川敷の遊具の修理、気軽に運動施設を使えるようにして欲しい。わざわざ予約して使用しなくても、ボール遊びできる公園、運動施設を使用させて欲しい。
- ・「一人一台スマホ」の時代ですが、児童のうちは持たせず、塾通いもほどほどにして、大いにスポーツをして欲しいと思います。強くなるための努力をしながら仲間との親睦も深め、協力し合うことを学び、成長して欲しいと思います。
- ・各チームにおいて指針を守ることの徹底。練習時間、日数など守っていない団体がほとんど。また、弘前市の公共施設利用について、1団体1IDの利用のルールとしているところ、実際は1団体で複数のIDで抽選等をしていることが常態化している現状にある。決められたルールの中で行うからこそ楽しめるスポーツなので、関連するルールもしっかり守る、ルール自体が実態と合わないのなら見直すことが必要だと思う。
- ・指導者への指導料の厚遇を望む。（指導料のみで生活できるくらい）主たる収入を確保できることにより、指導への時間を割けるので、集中できる。
- ・廃校になった（体育館等）場所を使用したい。
- ・学童保育やなかよし会等のコラボによる団員、活動場所の確保
- ・学校側と児童の様子についてもっと情報交換したい。スポーツ少年団として学校から離れた団体になったことにより、強いチームにやる気のある子が集まり、強いチームとそうでないチームの差が大きくなっている。ある程度の範囲を決め（スポーツ少年団に参加できる範囲）中学校のように、人数が少ない場合は合同で大会に参加する等のシステムが必要と思う。強いチーム同士が合同や合併する等の現状があるように思う。
- ・現在、チームとして少年団に加入していますが、加入によるメリットはほとんど無い状態。市の施策についても具体的に補助が受けられる様に、ご説明の機会を設けて頂き、活発な活動が出来る様ご協力をお願いいたします。
- ・子ども達が団等の活動以外でも気軽に各種スポーツに触れられる環境（施設であったり、イベントであったり）を今以上に整えて欲しい。
- ・スポーツ少年団事務局等の活性化
- ・少子化により、やりたいスポーツをやれない子供達が多数いると思います。また、送迎や参加出来る頻度は各家庭で差があると思いますが、私達が子供の頃のように、学校主体で活動した方が、移動も問題なく安心して子供達にスポーツをさせれると思っています。市や県で活動方針を一本化し統一しなければ、いち個人の好き放題になってしまうケースも出てくるのではないかと感じています。
- ・学校の教育課程内におけるスポーツ活動の充実、体育授業の充実、学校行事におけるスポーツ活動の充実、クラブ活動におけるスポーツ活動の充実、遊びの中にスポーツ活動を取り入れる児童の育成。
- ・部活開始までの子供達の待機場所の提供（学校から1回帰宅するよう言われるが、帰っても誰もいない、移動時間が無駄）
- ・教員以外の人に指導をしてもらうのであれば、指導者の身分の保証と手当（仕事をしないで指導するのであるから）の『制度』をしっかりと確率すべき。保護者が指導をすると、毎年指導者が変わり（卒業すると関わらない、できない）、一貫した指導体制が出来づらく、児童もとまどう。
- ・年々、放課後に運動をやりたがらずゲーム等をやっ過ごす子が増えてきている。小学校だと1校だけだと加入者数が足りないため、複数校から集まって構成しているため、保護者の送迎が必須となっている。いろいろな取り組みを考えて運営している団がありますが、うまく保護者に伝わっていないと思う。宣伝等の斡旋があればよいと思う。

## 【学校の自由意見】

- ・本校ではスポ少に午後7時過ぎまでの練習はないようお願いしている。だが、他校の校庭で練習する時は7時半頃までやっているようだ。帰宅してから宿題などやると眠るのは午後10時～11時頃になる子もいるようである。（前任校もそうであった。）小学生には練習時間の制限をかけるべきだと考える。（勝ちたいのはわかりますが…）
- ・指導者の資質向上のために、定期的な講習会の機会が必要。
- ・学校体育では補いきれない、地域の特性を生かしたスポーツ活動の推進。Exスキー（アルペン、クロカン）、スケート各種等
- ・種目によっては試合数が多く、（小さな大会など）休日に体を休めることができていない児童が多い様を感じる。

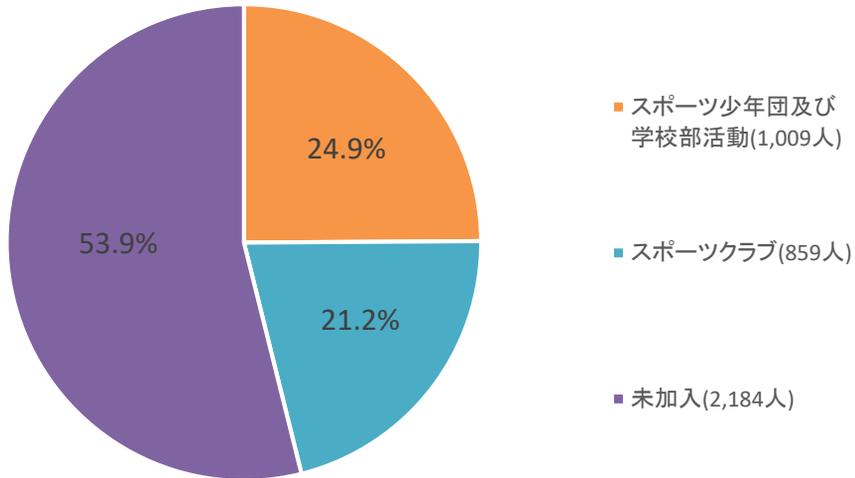
# 【参考】平成28年度調査時との比較

今回調査では対象範囲を小学校3年生まで広げている為、単純比較は出来ないが、6年間での児童のスポーツ環境の変化を考察する。

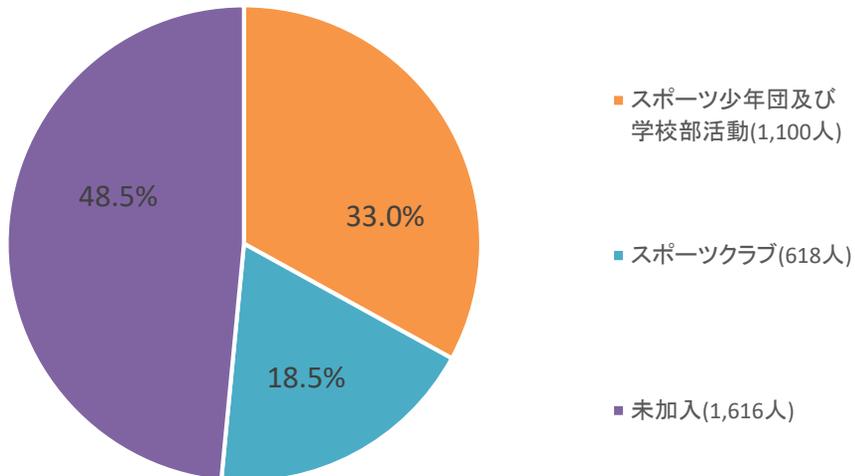
※なお、H28調査時のグラフにおいて、延べ回答数に対する比率の表記など、数字上本調査と異なるものも一部あるが、グラフの形状から傾向を考えるものとする。

## ◎子どものスポーツ活動への参加状況

(R4)



(H30)



■未加入割合が若干高くなっており、児童のスポーツ離れが進んでいます。

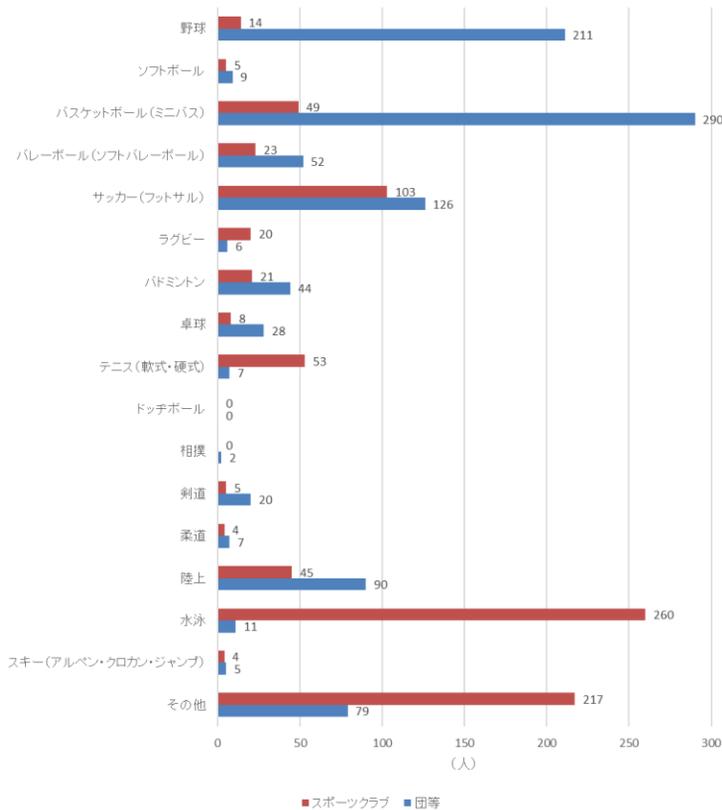
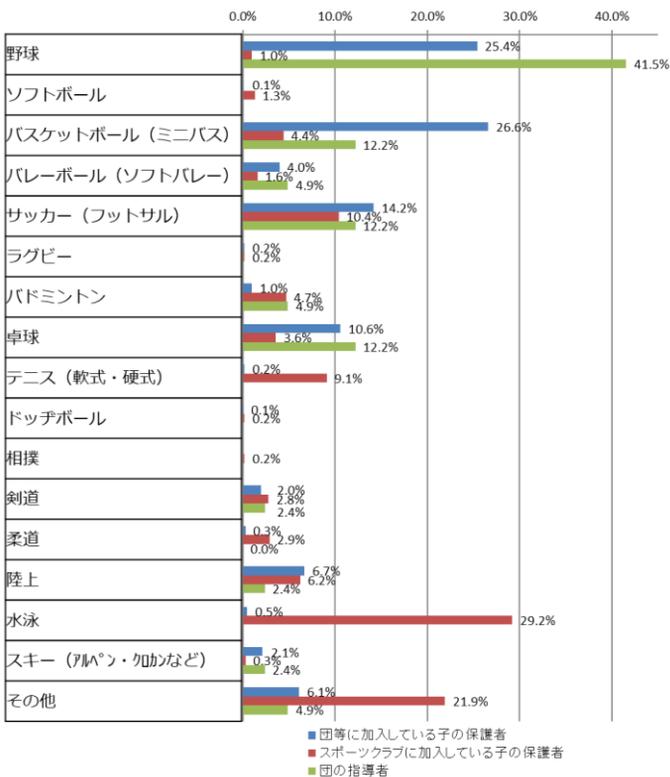
■スポーツ少年団の加入割合が減少し、スポーツクラブに通う子どもが増えてきています。

# ◎加入しているスポーツ種目

※H28は%表記、R4は回答人数表記となっている。

## (H30)

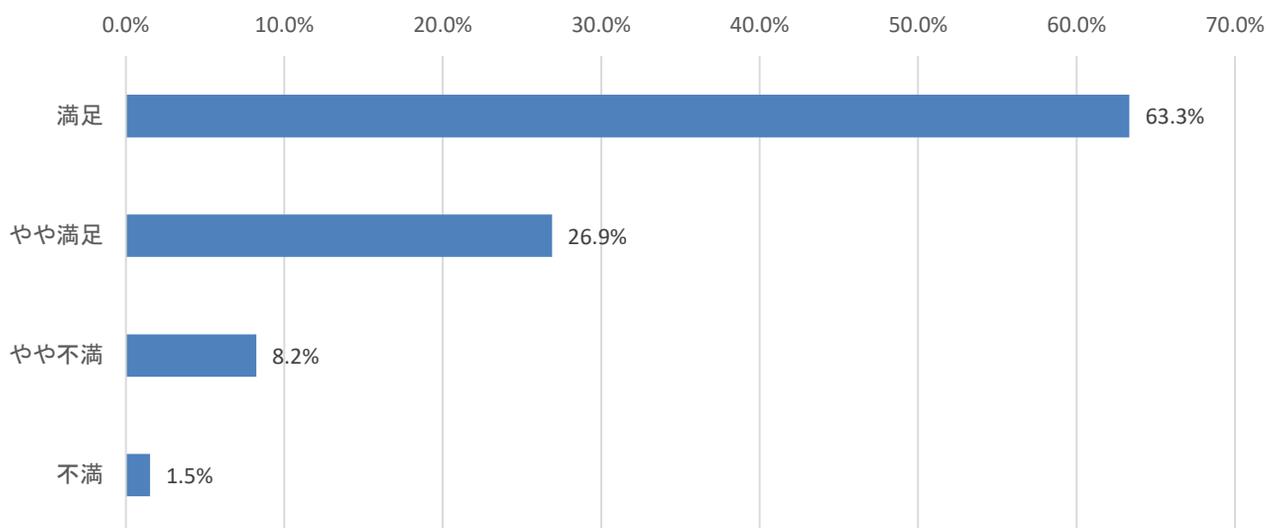
## (R4)



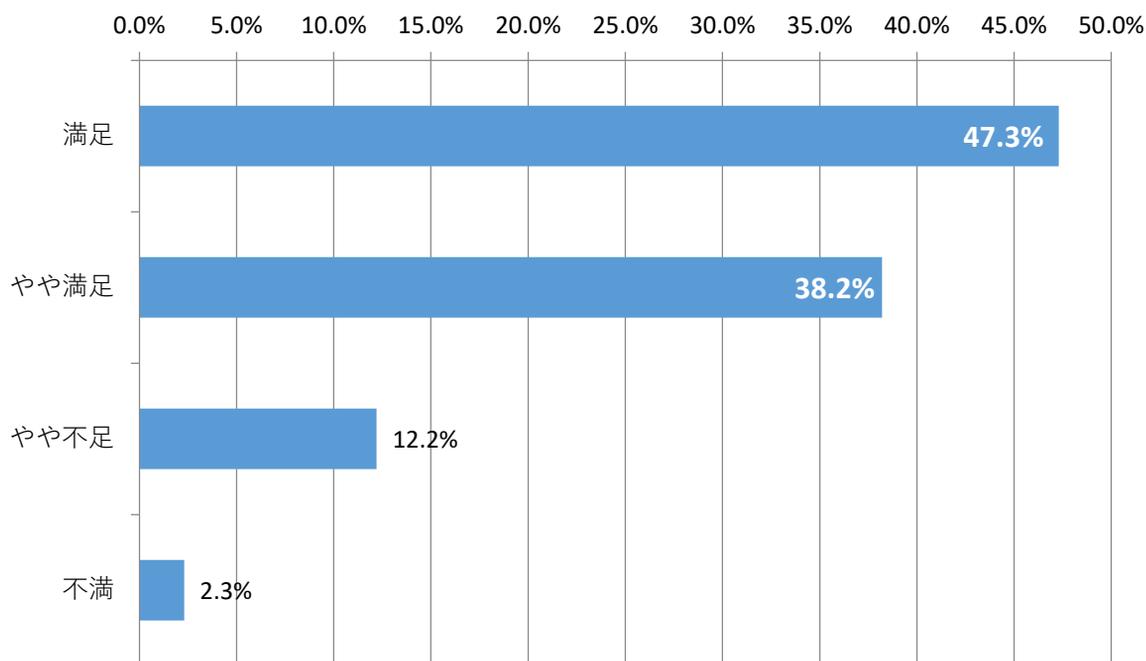
■加入している種目の傾向は大きくは異なるが、若干バスケットボールの加入が増えているように見受けられる。

# ◎スポーツ少年団の活動場所への満足度

## (R4)



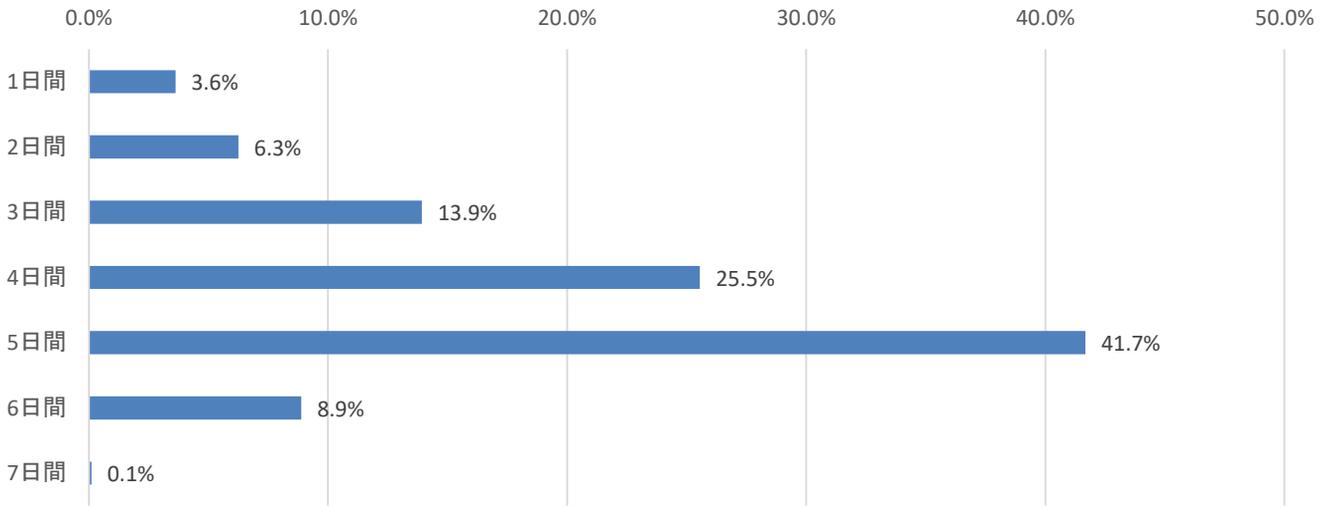
## (H30)



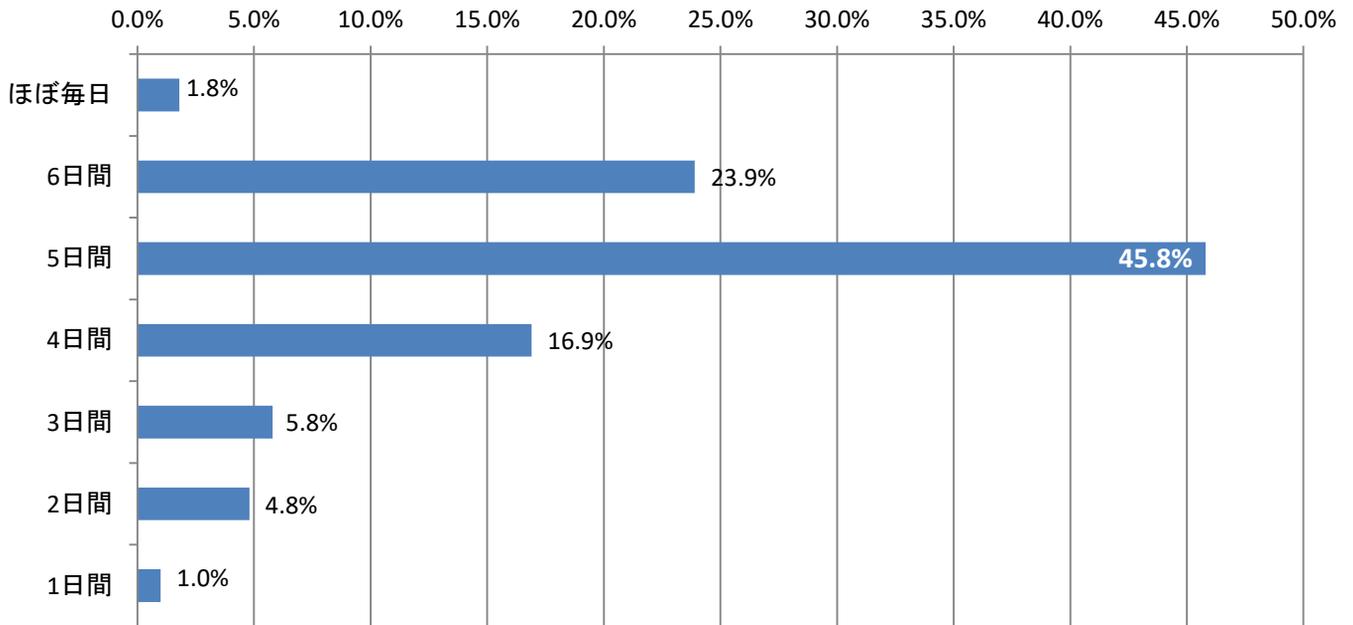
■おおむね同じ傾向ですが、「満足」と答える保護者が増えており、活動場所の確保については改善傾向にあるようです。

# ◎スポーツ少年団の1週間の平均練習日数（保護者回答）

## （R4）



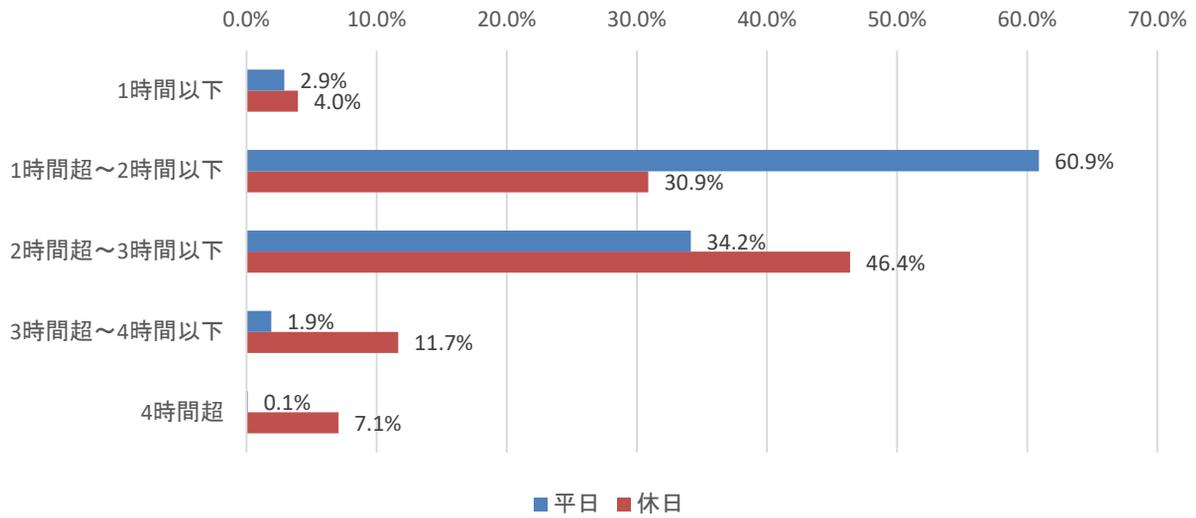
## （H30）



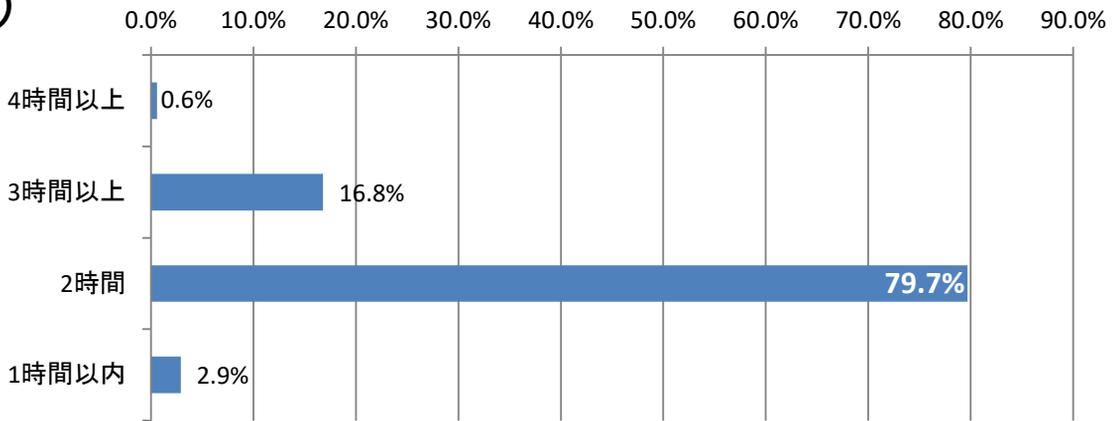
■ 5日間が最も多いのは変わりませんが、6日間の割合が大きく減っており、過度な練習を行う団等は減少傾向にあるようです。

# ◎ 1回の平均練習時間は？（保護者回答）

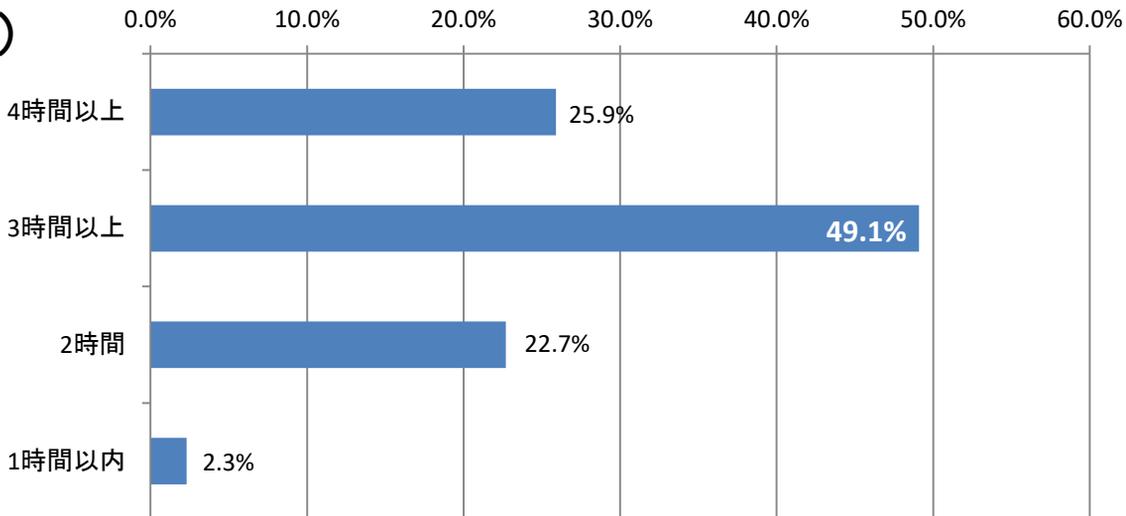
## （R4）



## （H30 平日）



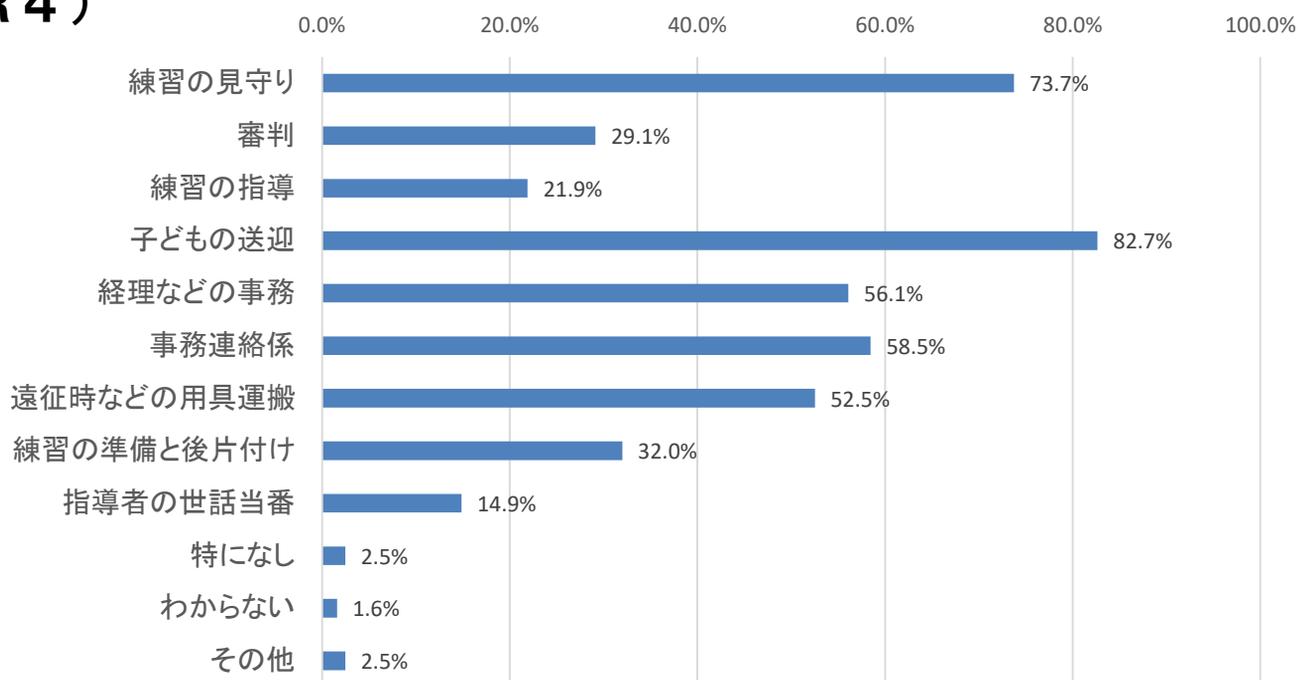
## （H30 休日）



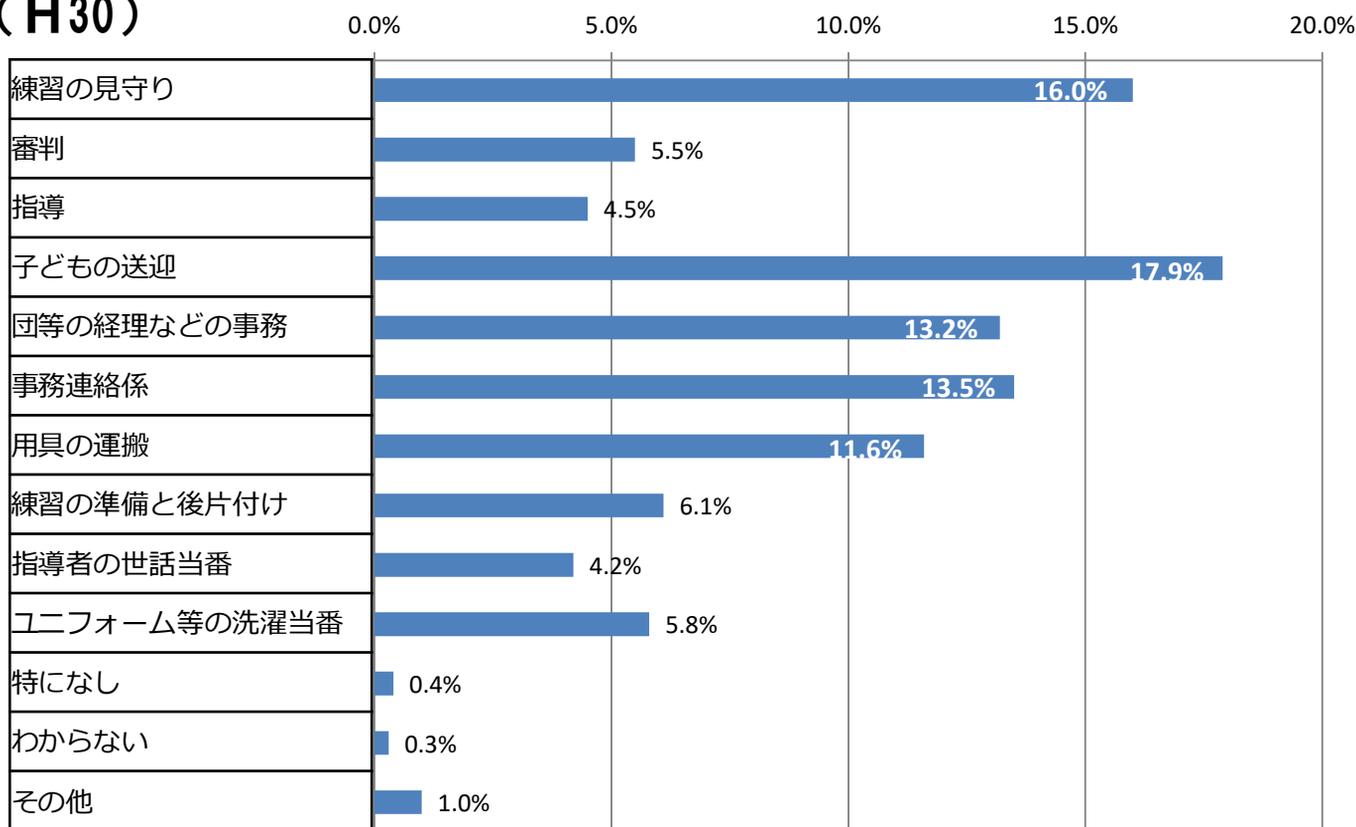
■ 休日の練習時間について、4時間以上の長時間実施する割合が減少傾向にあります。

# ◎保護者の役目

(R4)



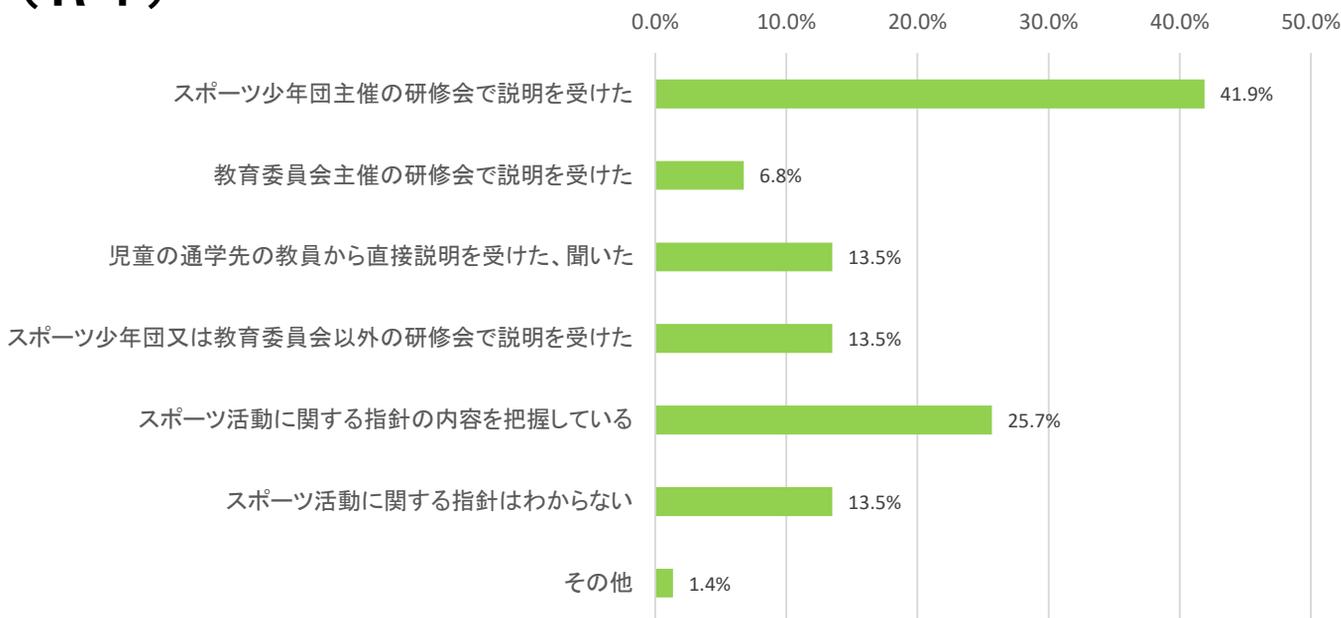
(H30)



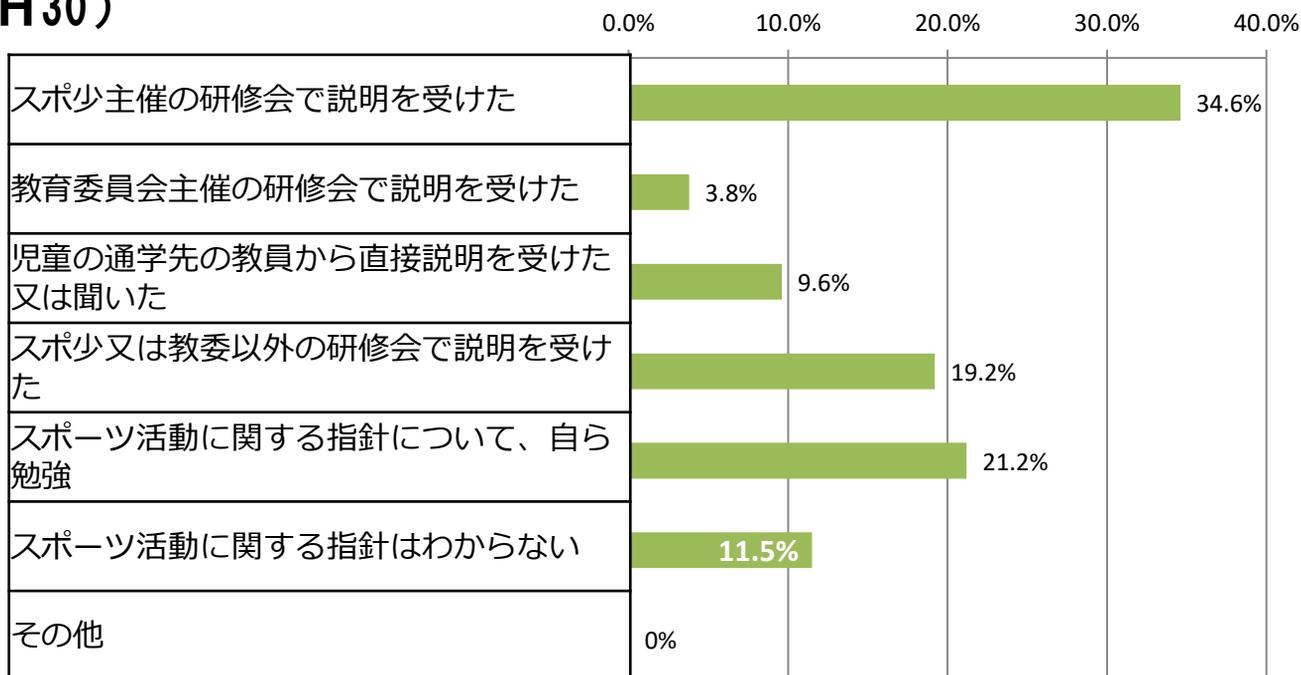
■保護者の役目については、ほとんど変わりありませんでした。

# ◎スポーツ活動に関する指針の把握状況

(R4)



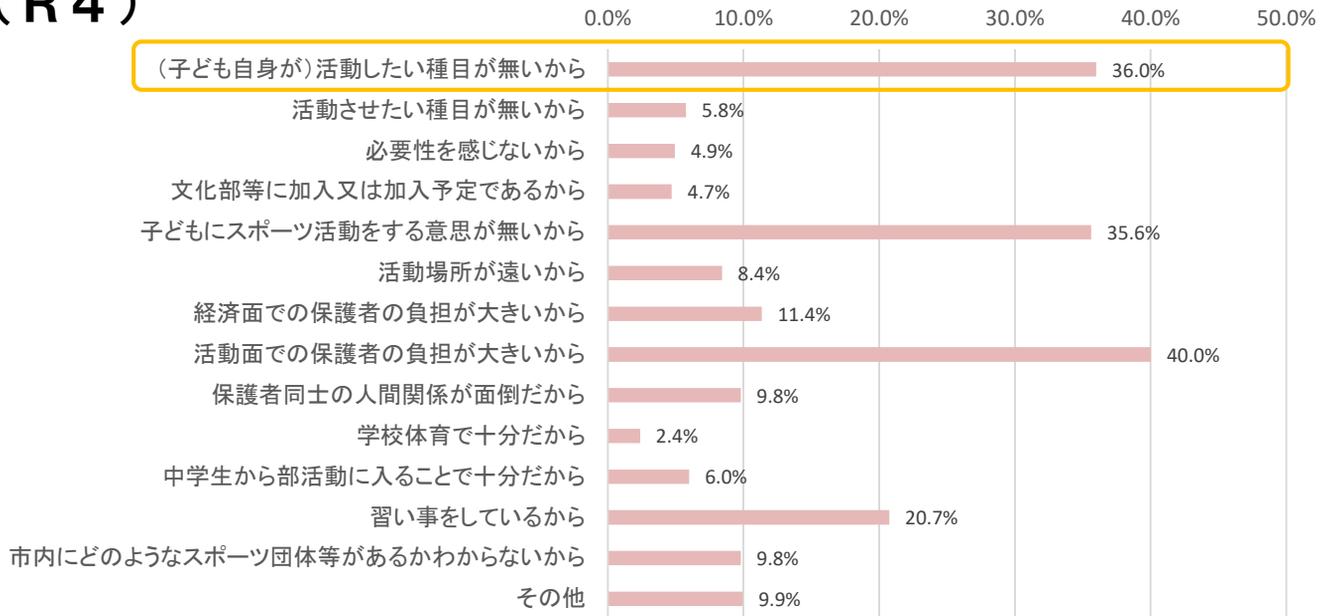
(H30)



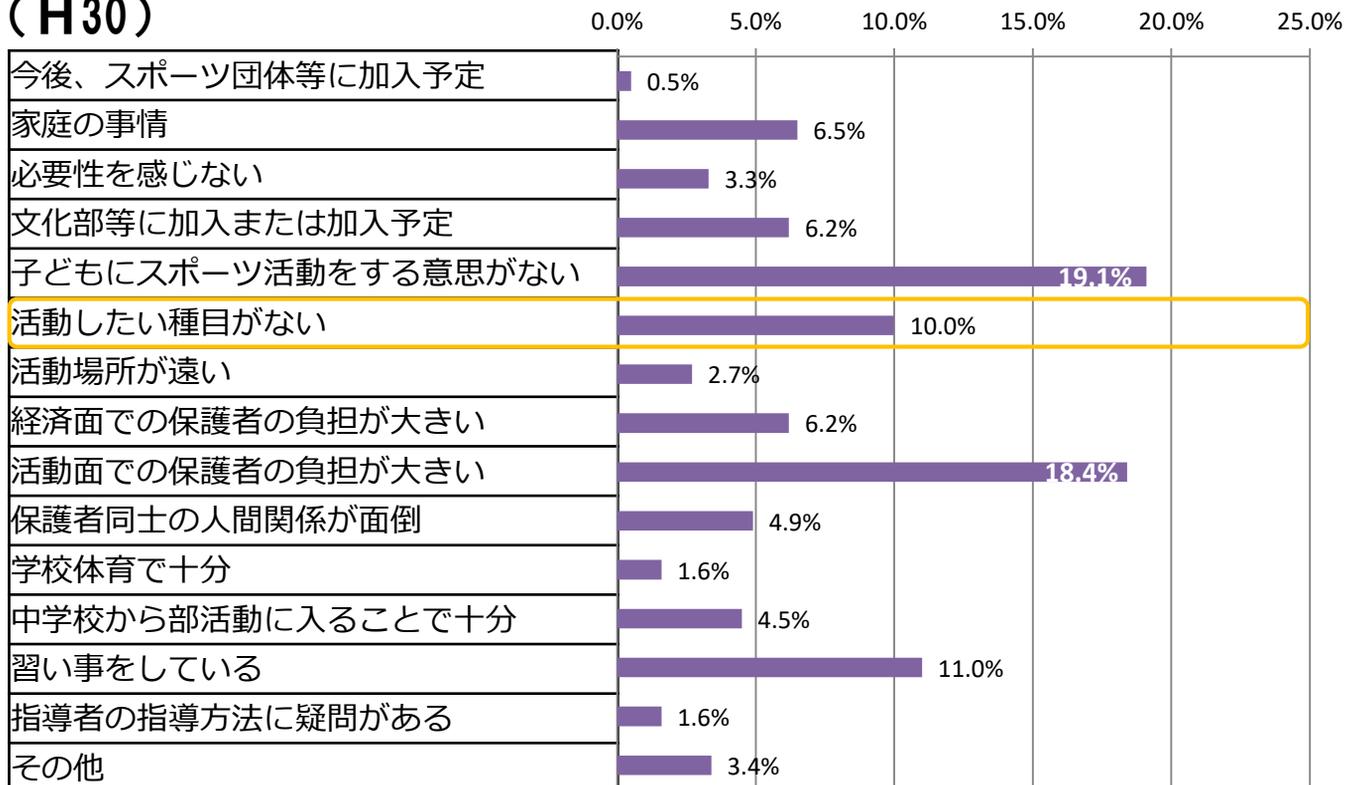
■スポーツ活動に関する指針の把握状況については、ほとんど変わりありませんでした。

# ◎スポーツ団体等に参加していない理由

## (R4)



## (H30)



■「活動したい種目がない」が大きく増えており、スポーツ少年団の減少により、身近な所でやりたい種目ができないため、加入していない子どもが増えていると考えられます。